

令和2年度

福井県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要

令和2年5月

福井県教育委員会

令和2年度福井県立高等学校入学者選抜学力検査の結果について

○推薦選抜、特色選抜、連携型中高一貫教育校入学者選抜、第1次学力検査、第2次学力検査および外国人生徒等特別選抜の課程別の合格者数は、次のとおりである。( )内は、前年度のものである。

	全 日 制	定 時 制	合 計
推薦選抜によるもの	515 (544)		515 (544)
特色選抜によるもの	238 (226)		238 (226)
連携型中高一貫教育校入学者選抜によるもの	68 (88)		68 (88)
第1次学力検査によるもの	3,592 (3,868)	163 (168)	3,755 (4,036)*
第2次学力検査によるもの	11 (18)	28 (13)	39 (31)
計	4,424 (4,744)	191 (181)	4,615 (4,925)
募集定員	4,784 (4,845)	350 (350)	5,134 (5,195)
充足率	92.5% (97.9%)	54.6% (51.7%)	89.9% (94.8%)
外国人生徒等特別選抜によるもの	3 (-)		3 (-)

\*第1次学力検査合格者3,755人の実用英語検定試験取得状況は、次のとおりである。( )内は、前年度のものである。

合格者	3級	準2級	2級以上	3級以上の取得級なし
3,755 (4,036)	1,309 (1,450)	738 (849)	78 (52)	1,630 (1,685)

○全日制の第1次学力検査合格者3,592人のうち、帰国子女受験者を除く3,591人(前年度3,868人)に関する教科別の平均点は、次のとおりである。( )内は、前年度のものである。

	選択問題A	選択問題B
英 語	43.3 (40.4)	71.8 (63.9)
数 学	46.0 (50.4)	59.0 (69.8)
	共通	
国 語	60.4 (57.1)	
社 会	54.8 (57.4)	
理 科	51.7 (49.9)	
総 点	206.5 (210.5)	319.7 (322.5)

※英語および数学は大問4～6問のうち1～2問を次の2種類の選択問題として実施

A：基礎力を問う設問の割合が多い問題 (選択した合格者1,100人)

B：記述・論述型の設問の割合が多い問題 (選択した合格者2,491人)

※英語の平均点には実用英語検定試験取得による加点は含まれていない。

国語

1 令和2年度入学者選抜 国語 (調査人数 424人)

大問	小問	配点	平均点	正答率	無答率	出題形式			観点	課題	
						選択	短答	記述			
一	(一)	3	1.37	45.52%	0.24%	○			知識・理解		
	(二)	3	2.69	89.62%	0.00%	○			知識・理解		
	(三)	4	2.05	44.34%	5.66%		○		読む能力		
	(四)	ドイツ	3	1.63	36.08%	13.21%			○	読む能力	
	(四)	日本	3	0.66	12.74%	19.10%			○	読む能力	課題①
	(五)		8	3.40	1.18%	8.73%			○	読む能力	課題①
	(六)	3	2.09	67.22%	3.30%	○			読む能力		
二	(一)	①	2	1.02	48.11%	5.66%		○		知識・理解	課題③
	(一)	②	2	1.89	91.98%	2.83%		○		知識・理解	
	(一)	③	2	1.38	64.15%	6.84%		○		知識・理解	
	(一)	④	2	1.99	98.82%	0.47%		○		知識・理解	
	(一)	⑤	2	1.65	80.19%	2.83%		○		知識・理解	
	(一)	⑥	2	1.25	57.55%	8.25%		○		知識・理解	
	(一)	⑦	2	1.85	86.79%	6.37%		○		知識・理解	
	(一)	⑧	2	0.28	10.61%	23.11%		○		知識・理解	課題③
	(二)		2	1.82	89.86%	1.42%	○			知識・理解	
三	(一)		2	1.44	68.40%	3.77%		○		知識・理解	課題④
	(二)		2	1.78	87.97%	0.24%	○			読む能力	
	(三)		3	1.72	33.73%	3.77%			○	読む能力	
	(四)		5	2.68	6.60%	6.60%			○	読む能力	課題②
	(五)	a	3	2.76	83.02%	7.31%		○		読む能力	
	(五)	b	4	2.37	28.30%	11.56%			○	読む能力	
	(六)		3	1.88	59.91%	4.25%	○			読む能力	
四	(一)		2	1.85	89.15%	3.07%		○		知識・理解	
	(二)		2	1.14	52.12%	5.90%		○		読む能力	
	(三)		3	1.75	57.78%	1.18%	○			読む能力	
	(四)		3	0.77	14.62%	15.33%			○	読む能力	
	(五)		2	1.76	85.85%	2.36%	○			知識・理解	
	(六)	a	3	2.00	45.05%	16.75%			○	読む能力	
	(六)	b	3	1.52	36.79%	23.58%			○	読む能力	
五		a	2	1.89	84.91%	2.83%			○	書く能力	
		b	4	2.74	44.81%				○	書く能力	
		c	5	2.86	21.23%				○	書く能力	
		d	2	1.27	45.99%				○	書く能力	
		e	2	1.20	42.69%				○	書く能力	
合計			58.85								

※20%未満に網掛け ※15%超過に網掛け

記述問題の総配点

50点

## 2 全体概要

<p>良好</p> <p>○接続詞の働きを理解し、文章の中で正しく使い分けができる。 <span style="float: right;">大問一（二）</span></p> <p>○中学校までに学習した漢字で、日常的によく使用するものについて、概ね正しく読むことや書くことができる。 <span style="float: right;">大問二（一）②④⑤⑦</span></p> <p>○歴史的仮名遣いの基礎を理解し、現代仮名遣いに直すことができる。 <span style="float: right;">大問四（一）</span></p>	
<p>課題</p> <p>●問われていることをふまえて、文章の中から解答に必要な内容を抽出し、適切に再構成して記述することに課題がある。 <span style="float: right;">大問一（四）、（五）</span></p> <p>●文構造に注意して複数の指示語の指示内容を正しく理解し、適切に再構成して記述することに課題がある。 <span style="float: right;">大問三（四）</span></p> <p>●学習した漢字について、四字熟語や慣用的言い回しを正しく読み書きすることに課題がある。 <span style="float: right;">大問二（一）①⑧</span></p> <p>●修飾・被修飾の関係と文節の区切り方の理解について課題がある。 <span style="float: right;">大問三（一）</span></p>	

## 3 問題の概要

大問一	<p>説明的な文章</p> <p>「細川英雄『言語・文化・アイデンティティの壁を越えて』」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文化」について、留学生の例を挙げて、対話のプロセスと関連づけて述べた説明的な文章</li> <li>・文脈に即して筆者の主張や根拠を読み取り、再構成して表現する力を求めている。</li> </ul>
大問二	<p>漢字・書写</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校第3学年までに学習した漢字について読むこと、小学校第6学年までに学習した漢字について書くことを求めている。</li> <li>・書写の基本的事項（書体の特徴）の理解を求めている。</li> </ul>
大問三	<p>文学的な文章</p> <p>「任野よる『麦本三步の好きなもの』」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館を舞台に、先輩職員とのやりとりを通じて主人公「三步」の心情の変化を描いた文学的な文章</li> <li>・本文の描写に即して場面の状況や登場人物の心情を丁寧に読み取る力を求めている。</li> </ul>
大問四	<p>古文</p> <p>「作者不詳『注好選』」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不思議な<u>うばち</u>とその<u>かき</u>によって自分たちのあるべき姿に気づかされた三人の兄弟にまつわる古文と、その古文の解釈について話している先生と生徒との会話文</li> <li>・会話文を手がかりとしながら文章の内容を読み取り、的確に表現する力を求めている。</li> </ul>
大問五	<p>作文</p> <p>「日本のサービスはこれからどうなることが望ましいかについて」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本のサービスはこれからどうなることが望ましいかについて、資料をもとに意見を書く作文</li> <li>・資料をもとに目的に応じて必要な情報を読み取り、資料に関連付けて反論を想定しながら自分の意見を論理的に展開し、適切に表現する力を求めている。</li> </ul>

4 誤答分析と今後の指導のポイント

【課題①】問われていることをふまえて、文章の中から解答に必要な内容を抽出し、適切に再構成して記述することに課題がある。

大問一 (四) (・ドイツで)	正答率	36.08%	無答率	13.21%
	(・日本で)	正答率	12.74%	無答率

— 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

(前略)

当時、私のクラスでは、「わが隣人」というタイトルで、身近な人にインタビューをしようというプロジェクトをつくっていた。そこでは、まず自分の周囲の魅力的な人物を選び、その人にインタビューする計画を立てる。その際に、なぜその人が魅力的なのか、どのような点がどのように魅力的なのかについてクラスでディスカッションをするところから、このプロジェクトははじまる。このディスカッションの中で、魅力的な点からテーマが引き出され、そのテーマに基づいて、インタビューが行われるという手順になっていた。彼女のテーマは、「日本人女性の生き方」ということとなっていた。ドイツの大学で日本学を学ぶ中で、日本での女性の生き方のようなことに関心を持ったという。このテーマを具体的にするために、彼女は、自分が住んでいる留学生寮の管理人であるRさんをインタビュー相手に選んだ。

もともと「日本人女性の生き方」というテーマそのものが、実際どのようなものかは想像からよくわからなかったようなのだが、そのことがインタビューを通じて、徐々に明らかになってくる。A、こうしてテーマを立てる段階で、すでに「日本人女性」という社会意識の枠にザビーネはとらわれていたのだ。

留学生寮の管理人であるRさんにインタビューするうちに、このRさんが自分の描いていた「日本人」のイメージとは少し違う人であることにザビーネは気づきはじめる。B、物事をはつきり言うタイプだとか、自分の生家を出て日本の各地で生活した経験を持っている、とかである。こうしたRさんの性格や経歴は、今までザビーネが描いていた「日本人女性」のイメージとはかなり異なる人物であることがインタビューを通じて明確になってくる。ザビーネはこのことに驚き、自分の立てたテーマと実際のRさんの姿との差異に戸惑ってしまう。そのために、インタビューをどのように進めていったらいいかわからなくなる。そのような迷いの中で、インタビューそのものに挫折しかけてしまう。

これを教つてくれたのは、Rさん自身だった。何を聞いていいかわからなくなったザビーネに対して、Rさんのほうから積極的に話しかけてくれ、そのRさんの問いにゆっくりと答えているうちに、しだいに、ザビーネは自らの心を開き、なぜそのようなインタビューをしようと思ったのかの心情をRさんに吐露しはじめる。それに対し、Rさんは自分の境遇を語ることで、ザビーネを理解しようとする。こうしたやりとりで助けられ、やつとインタビューを続けようという意思をザビーネは持つようになる。

このザビーネの変化は、授業活動として行ったインタビューが、しだいに個人としての対話に変わっていくプロセスとして観察することができる。そして、この対話を通じて、ザビーネは、なぜ自分がそのような日本人イメージを持つていたのかということに気づくようになる。ドイツの大学で勉強していたときは、日本学という分野の中で、「日本人」とはこのようなもの、というイメージを持ち、持たされ、それを両手いっぱい抱えて日本にやっていた。日本でもまた、いろいろな情報の中で、そのイメージが強化された。しかし、自分のイメージと異なる人に出会うことによつて、ザビーネはようやく自分のステレオタイプに気づくことになった。そして、その気づきには、その人との心を開いた対話がとても大きな要素を占めていることがわかる。その発見は、国や民族のような集団の枠組みから解放されたとき、つまり、一人の個人となったとき、はじめて現れるのである。

(細川英雄「言語・文化・アイデンティティの壁を越えて」の文章による)

大問一(四) 傍線の部分2は、何と何とによって作り上げられたものか。解答欄の書き出しに続けて、それぞれ十字以内で書け。ただし、書き出しの言葉は字数に含めない。

【解答例】 (・ドイツで) 勉強していた日本学 (9字)  
(・日本で) 得たいろいろな情報 (9字)

大問一(五) 正答率 1.18% 無答率 8.73%

— 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

(前略)

このザビーネの変化は、授業活動として行ったインタビューが、しだいに個人としての対話に変わっていくプロセスとして観察することができる。そして、この対話を通じて、ザビーネは、なぜ自分がそのような日本人イメージを持っていたのかというところに気づくようになる。ドイツの大学で勉強していたときは、日本学という分野の中で、「日本人」とはこのようなもの、というイメージを持ち、持たされ、それを両手いっぱい抱えて日本にやってきた。日本でもまた、いろいろな情報の中で、そのイメージが強化された。しかし、自分のイメージと異なる人に出会うことによって、ザビーネはようやく自分のステレオタイプに気づくことになった。そして、その気づきには、その人との心を開いた対話がとても大きな要素を占めていることがわかる。その発見は、国や民族のような集団の枠組みから解放されたとき、つまり、一人の個人となったとき、はじめて現れるのである。

一人の個人となるということは、対等な関係を結ぶということでもある。対等の意味は、この人ならば話しても大丈夫、この人に私の心を開きたい、そのように思う感覚・感情である。それは、感覚としての身体の声、感情としての心の中に傾けるということであると同時に、きわめて精神的なつながりを意味している。ザビーネの場合、Rさんとの対話を通じて、対等な関係をRさんと精神的に結べたことが、ステレオタイプの気づきへとつながっている。このような自己を表現し、他者を認め、対話を成立させていくための、さまざまな要素の基盤となる対等な関係こそが、自分自身の社会通念を組み合わせ、そのステレオタイプを乗り越えることにつながっている。

この対話のプロセスにこそ文化があると私は痛切に感じる。この経験は、文化は、文化は、たとえば、日本社会のような集団社会とともにあるのではなく、私たち一人ひとりのことばのやりとりの中にあるということを示唆している。

つまり、文化というものを「日本文化」というような集団的な枠組みで捉えるのではなく、一人ひとりのことばのやりとりの中にすでに文化は組み込まれていると捉えることで、その文化は、ことばと別々にあるものではなく、一人ひとりの意識や認識とともにあるものだということになるからだ。そう考えると、そもそも文化とは、モノとして存在するのではなく、私たち一人ひとりの意識・認識であり、それはきわめて動的・流動的なものだ。

変遷している状態

（細川英雄「言語・文化・アイデンティティの壁を越えて」の文章による）

50

45

大問一(五) 筆者は、文化とはどのようなものかと考えているか。次の  中の言葉をすべて用いて、解答欄の書き出しに続けて八十字以内で説明せよ。ただし、書き出しの言葉は字数に含めない。

集团的 対等な関係 プロセス

【解答例】 (文化とは、) 集团的な枠組みで捉えられるものではなく、対等な関係を結んだ他者との対話のプロセスに組み込まれた、一人ひとりの意識・認識であり、動的・流動的なものである。(77字)

#### 〈誤答分析〉

- ・大問一(四)では、「留学生の日本に対するイメージ獲得に至った要因」が問われていることをふまえ、書き出しに続く形でまとめ直すことが求められている。
- ・誤答には、「(ドイツで) イメージを持たされた」、「(日本で) イメージが強化された」のように、「要因」ではないことを書いたものが約4割見られた。また、「(日本で)」に続く内容としては、「日本に留学して得られたいろいろな情報の中でイメージが獲得された」ことをまとめ直して書くべきところを、「ドイツの大学での勉強」との対比でとらえて「(日本で) の留学の経験」と答えるなど、不十分な解答にとどまったものも見られた。
- ・大問一(五)では、本文に示された筆者の「文化」についての考えを、指定語句を手がかりにまとめ直して書く必要がある。指定語句を単純に組み合わせるのではなく、「対等な関係にある他者との対話のプロセスに文化がある」という筆者の考えについて、指定語句を用いながら整理して書くことが求められている。
- ・誤答には、必要な内容を本文中から抜き出すことはできたものの、「文化の定義」が問われていることをふまえられず、「(文化とは) 一人ひとりの意識・認識であり、動的・流動的なものである」という要素を解答に含めていなかったものが約4割見られた。また、「対話のプロセスにこそ文化がある」のように、指定語句を含む本文を単純に抜き出してそのまま使用したものも目立った。

→文章の中から解答に必要な言葉を抽出することはできるが、問われている内容に対応させて適切に再構成して書くことができない。昨年度に引き続き、課題である。

#### [SASAで指摘された課題]

- ・SASA2015 A三(二)②  
文章の中心的な部分をとらえ、その内容を文章にまとめて適切に記述すること
- ・SASA2018 B三(二)  
文章の構成や論理の展開、表現の仕方に着目しながら、筆者の意見や要旨を捉えること

#### 〈今後の指導のポイント〉

- ・説明的な文章や新聞の社説を要約する学習を行う。その際に、キーセンテンスやキーワードを手がかりに段落要旨をまとめてから文章全体を読み直し、論の展開を捉えてから全体要旨をまとめる活動を取り入れる。  
(参考 SASA2015 報告書 p94)
- ・文章の中心的な内容を意識しながら読み取った内容を図式化したり文章化したりして、プレゼンテーションをする学習を行う。  
(参考 SASA2015 報告書 p93)
- ・主語と述語、修飾語と被修飾語の関係に注意し、書いた文章の意味が通るかどうかについて自己評価や相互評価を行い、リライトする学習を行う。

【課題②】文構造に注意して複数の指示語の指示内容を正しく理解し、適切に再構成して記述することに課題がある。

大問三(四) 正答率 6.60% 無答率 6.60%

三 大学の図書館に就職した表本三歩は先輩二人と働いており、心の中でそれぞれの先輩を「優しい先輩」「怖い先輩」と呼んでいる。ある日の仕事中、三歩は図書館の受付カウンターに呼び出されたという男子学生から声をかけられ、その対応を「優しい先輩」に任せた。以下は、それに続く場面である。この文章を読んで、あとの問いに答えよ。

(前略)

「図書館からなんの金貰ってるの？」

「いや、ぼろっぼろの本なくしたら金払わされてさ、あんな本程度でたりいわ。」

それを、わざわざカウンターの前で言ったのだ。三歩はあわあわとする。怒りに変わる前前前段階だ。もしも彼らの目の前にいたのが怖い先輩だったりしたら、怒鳴られてもおかしくないぞよかつたな目の前にいるのが優しい先輩で、青年達よ。

そうやって男子学生達が無事に去ろうとするのを見ていた三歩の目に、一瞬、何か怖いものの幻影が見えた。

「待ちなさい。」

三歩は思わず多めの瞬きをする。そこにいるのは間違ひなく優しい先輩。怖いものなんてどこにもいやしない。けれど、先輩の柔らかな立ち姿に、何かただならぬものを見た気がした。

「なん、すか。」

「これは、本に限らずです。」

優しい先輩の胸が膨らむ。

「長い時間をかけていたんできたものには、それを大切に扱ってきたたくさんの人と、それを守ってきた人がいます。新島のものよりも、たくさんの方の愛情が、仕事がそこにかけてられているんですよ。世の中には、それをあんな程度と呼び、粗末にし、そのことを反省する気もない大人達がたくさんいます。そんなことをしていると、いつか、年を取った時に、今度は自分が同じ目に遭うような気がするんですよ。」

(住野よる『表本三歩の好きなもの』の文章による)

大問三(四) 傍線の部分3とはどのようなことか、五十字以内で書け。

【解答例】 たくさんの人の愛情と仕事がかけて長い時間をかけていたんできたものを、粗末にし、反省しないこと。(49字)



#### 〈誤答分析〉

- ・指示語の指示内容を正確に捉えて適切な言葉に置き換え、解答に必要な言葉だけを整理することが求められている。文構造に注意して指示内容を置き換え、制限字数の中にまとめ直すことが必要である。
- ・誤答には、「粗末にし、反省しないこと」という解答に必要な内容は書けているものの、「長い時間をかけていたんできたもの」「愛情や仕事がかげられたもの」のいずれかの要素が欠けているものが約8割見られた。また、指示内容を男子学生の行為そのものと誤って捉えたものもあった。

→一つの指示語の内容を捉えて書くことはできているが、複数の指示語の指し示す内容を明確にした上で適切に再構成することができない。

#### 〈今後の指導のポイント〉

- ・指示語を具体的な表現に置き換えて書き直す学習を行う。また、複数の文を、指示語や接続語、助詞を補って一文にまとめ直す学習も並行して行う。その際、問われていることに対して適切な答え方ができるように意識させる。

(参考 SASA2015 報告書 p92)

【課題③】学習した漢字について、四字熟語や慣用的言い回しを正しく読み書きすることに課題がある。

大問二（一） ① 正答率 48.11% 無答率 5.66%  
⑧ 正答率 10.61% 無答率 23.11%

二 次の問いに答えよ。

問（一） 次の①～⑧の傍線の部分について、漢字は読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書け。

① 旗を掲揚する。

⑧ 理路セイゼンと話す。

【解答例】 ① けいよう ⑧ 整然

#### 〈誤答分析〉

- ・①「掲揚」の誤答には、「かつあげ」「よくよう」「こうよう」などが目立ち、「揚」を手がかりとして思い浮かぶ語の読み方を書いたものが約3割見られた。「掲揚」は、体育祭での「国旗掲揚」など身近な場面で耳にする言葉ではあるが、意味の理解にまでは至っていないと考えられる。
- ・⑧では、「生然」「正然」など「～然」としたものが最も多く、四字熟語としての意味をなさない同音異字の「生前」と書いたものも目立った。「ゼン」を「前」「善」とした誤答も目立った。

→語の意味を理解して、文脈に合うように読んだり漢字を適切に選んで書いたりすることや、四字熟語や慣用的言い回しなど、学習した漢字を組み合わせることができる語彙の知識が不足している。昨年度出題の慣用句「ハチクの勢い（答：破竹）」（正答率18.76% 無答率28.48%）に引き続き、課題である。

#### [SASA で指摘された課題]

- ・SASA2016 A- (三) 語句の意味や働きについて理解し、文脈の中で適切に使うこと

#### 〈今後の指導のポイント〉

- ・四字熟語や故事成語、慣用句の意味や語源を理解して日常の場面で使えるようになるために、短文を作ったり、スピーチの中で使ったりなどして、それらの語句を使用する機会を増やす学習を行う。
- ・複数の意味を持つ言葉や使い分けの難しい言葉を使って短文を作る学習を行う。
- ・「日めくり教材」に出てくることわざ、慣用句などの表現を使って、短文を作る学習を行う。  
(参考 SASA2016 報告書 p105)
- ・語彙を豊かにするために、自分だけの「語彙手帳」を作らせる学習を行う。  
(参考 SASA2018 報告書 p67,68)

【課題④】修飾・被修飾の関係と文節の区切り方の理解について課題がある。

大問三(一) 正答率 64.4% 無答率 3.77%

三 大学の図書館に就職した麦本三歩は先輩二人と働いており、心の中でそれぞれの先輩を「優しい先輩」「怖い先輩」と呼んでいる。ある日の仕事で、三歩は図書館の受付カウンターに呼び出されたという男子学生から声をかけられ、その対応を「優しい先輩」に任せた。以下は、それに続く場面である。この文章を読んで、あとの問いに答えよ。

問(一) 波線の部分が修飾している文節を文章の中から抜き出して書け。

優しい先輩が領収書とお釣りを相手にも確認させ、茶封筒に入れて作の男子学生に渡そうとすると、彼はまるで奪うようにお金を取ってポケットにねじ込んだ。駄目だよと片目で見ながら作業していた三歩は思う。しかしその後の彼らの態度はもっと駄目だった。

(佐野由る『麦本三歩の好きなもの』の文章による)

【解答例】 奪うように

#### 〈誤答分析〉

- ・呼応の副詞に対応する語句を一文節で抜き出して記述する問題である。修飾・被修飾の関係という言葉のもつ働きを理解し、「まるで」という副詞に対応する語句を含んだ文節を正しく判断して、記述する力が求められる。
- ・誤答には、該当箇所注目はできているものの、「奪う」、「ように」と一単語で抜き出したものや「奪うよう」と書いたものなど、文節の区切り方に誤りがあるものが約5割見られた。また、呼応の副詞に対応する語句とは関係のない「お金を」「彼が」と書いたものも約5割見られた。

→昨年度の呼応の副詞の働きを問う問題は選択式問題であったこともあり、正答率97.57%と良好で、基本的な知識の定着が見られた。「まるで～のような」の呼応は基本的な文法事項であるため、短答で書かせることを勘案しても、8割以上の正答率が期待された。しかし、正答率は64.4%であった。今年度の受験生も、昨年度と同様に呼応の副詞に対応する語句については理解していたと考えられるが、文節の概念と修飾・被修飾の関係についての理解が不十分であった。

#### [SASA で指摘された課題]

- ・SASA2015 A一(二) 語句についての理解を深め、文の成分の照応を理解し、指摘すること。

#### 〈今後の指導のポイント〉

- ・日頃から継続的に文法の学習に取り組ませることが大切である。修飾・被修飾の関係を正しくとらえさせるために、例えば「たとえ～ても」、「もし～ならば」などの呼応の副詞を使って短文を作らせる学習を行う。また、単語や文節など、言葉を区切る単位についても正確に理解できるように、折に触れて取りあげて指導する。
- ・授業の最初に、単語カードを使った「文作りゲーム」等を行い、様々な文節同士の関係について考えさせる活動を継続的に行う。

(参考 SASA2015 報告書 p96,97)

# 社会

## 1 令和2年度入学者選抜 社会(調査人数408人)

大問	小問	配点	平均点	正答率	無答率	出題方式			履修学 年	課題	
						選択	短答	記述			
1	(1)	2	1.35	67.65%	0.00%	○			1		
	(2)	2	1.29	64.71%	0.00%	○			1		
	(3)	2	1.46	73.04%	0.25%	○			1		
	(4)	a	2	1.37	56.62%	0.49%			○	1	
	(4)	b	2	1.04	50.00%	1.72%			○	1	
	(5)		2	1.53	74.75%	1.47%		○		1	
2	(6)	2	0.73	36.36%	0.00%	○			1		
	(1)	2	1.59	79.41%	0.00%	○			2		
	(2)	2	0.68	26.47%	4.41%			○	2		
	(3)	2	0.78	39.07%	0.25%	○			2		
	(4)	2	0.88	43.63%	0.25%	○			2		
	(5)	3	1.92	38.73%	2.21%			○	2	課題①	
3	(6)	3	2.04	43.63%	1.23%			○	2		
	ア	2	1.91	93.14%	0.74%		○		1		
	イ	2	1.45	69.85%	2.21%		○		1		
	ウ	2	1.20	56.76%	4.42%		○		2		
	エ	2	0.66	31.37%	4.90%		○		1		
	(1)	3	0.99	31.37%	2.94%		○		3		
	(2)	2	1.04	51.96%	0.00%	○			1		
	(3)	2	0.66	33.09%	0.00%	○			2		
	(4)	3	1.13	21.08%	7.11%			○	1		
	(5)	3	1.73	27.94%	8.09%			○	2		
	(6)	2	1.18	58.82%	0.25%	○			1		
	(7)	2	1.76	86.27%	1.72%		○		1		
4	(8)	3	1.50	49.51%	0.00%	○			3		
	(1)	2	0.88	43.63%	0.25%	○			2		
	(2)	3	1.55	35.78%	1.72%			○	2		
	(3)	3	1.25	14.46%	2.94%			○	2	課題②	
	(4)	2	0.92	45.59%	0.00%	○			2		
	(5)	a	3	1.22	10.05%	2.70%			○	2	課題③
	(5)	b	3	1.41	12.75%	8.33%			○	2	課題③
	(6)	記号	2	1.59	78.43%	0.98%	○			3	
5	(6)	取組	2	1.06	49.88%	3.69%		○		3	
	(1)		2	1.09	54.17%	0.49%	○			3	
	(2)	a	2	0.96	48.04%	0.25%	○			3	
	(2)	b方向	2	1.77	87.50%	0.49%	○			3	
	(2)	b理由	3	2.15	42.89%	4.66%			○	3	
	(3)		2	1.53	73.77%	1.47%	○			3	
	(4)	名称	2	1.48	70.59%	4.17%		○		3	
	(4)	目的	3	1.26	21.57%	14.95%			○	3	
	(5)		2	1.33	61.03%	6.86%		○		3	
	(6)		2	0.40	7.35%	21.32%			○	3	課題④
(7)		2	0.83	40.93%	1.72%	○			3		
(8)		2	1.31	61.76%	5.39%		○		3		
合計			52.71								

\* 20%未満に網掛、15%超過に網掛け

記述問題の総配点 38点
-----------------

## 2 全体概要

良好

○歴史的事象について、基礎的な語句を理解し適切に使うことができる。 大問3ア

○歴史的事象について、資料をもとに考察し、基礎的な語句を適切に使うことができる。

大問3(7)

○現代の社会的事象について、身近な生活と関連付けて、条件に合わせて適切に説明することができる。

大問5(2)ab

課題

●地図を多面的な視点で読み取り、地理的な特徴と関連付けて説明することに課題がある。

大問2(5)

●歴史的事象について、資料をもとに考察し、適切に説明することに課題がある。 大問4(3)

●現代の社会的事象について、複数の資料や情報を関連付けて説明することに課題がある。

大問4(5)

●現代の社会的事象の背景について、資料が示している内容を判断して説明することに課題がある。

大問5(6)

## 3 問題の概要

大問1	世界の地理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確に地図を読み取り、写真とグラフを関連づけて判断する力を求めている。</li> <li>・EUの現状や課題について、複数の地図と表を適切に関連付けて表現する力を求めている。</li> </ul>
大問2	日本の地理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や産業から見た日本の地域的特色を、資料を活用して考察する力を求めている。</li> <li>・日本の農業について、複数の資料を関連付けて多面的に考察し、表現する力を求めている。</li> </ul>
大問3	日本および世界の歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県にまつわる史跡や人物の功績について、資料をもとに歴史的背景を判断し、表現する力を求めている。</li> <li>・寺内町のつくりや日本の近代化における鉄道国有化について、複数の資料を関連付けて判断・表現する力を求めている。</li> </ul>
大問4	地理、歴史、公民の総合問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふるさと福井の繊維産業」を題材にした地理・歴史・公民の3分野の総合問題。地理的、歴史的背景をもとに、繊維産業の現状の課題、さらには今後の展開を思考・判断する力を求めている。</li> </ul>
大問5	公民分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成の時代を通じて生じた今日的課題に対して、資料をもとに考察し、判断・表現する力を求めている。</li> <li>・日本の社会保障の在り方について、複数の資料を関連付けて判断し、表現する力を求めている。</li> </ul>

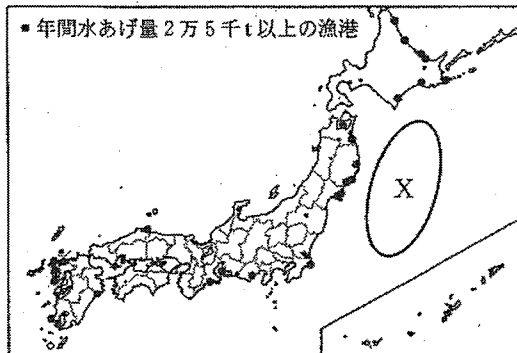
#### 4 誤答分析と今後の指導のポイント

【課題①】地図を多面的な視点で読み取り、地理的な特徴と関連付けて説明することに課題がある。

大問2(5) 正答率 38.73% 無答率 2.21%

- (5) 日本の水産業について調べたグループは、資料6のように、太線で囲まれたXの海域近くに水あげ量が多い漁港が多く集まっていることに気付いた。Xの海域に流れる海流に着目して、その理由を簡潔に説明せよ。

資料6



【解答例】暖流の黒潮と寒流の親潮がぶつかる潮目となり、好漁場となるため。

##### 〈誤答分析〉

- ・「潮目」という語句は地理でも基礎的な語句であり、その言葉の意味する内容を理解していれば、8割以上の正答率が期待されたが、「黒潮が流れている」「親潮が流れている」と、一つの海流のことのみ書いてある解答が2割程度あり、無答率も2.21%と想定より高かったため、期待された正答率を大幅に下回った。
- 潮目という基礎的な語句を理解できていても地図と照らし合わせてXの地点が潮目であることが理解できていない。
- プランクトンが多く発生し、好漁場となるという潮目の特徴を理解できていないため、「水あげ量の多い漁場」と関連付けて解答にできていない。

##### 〈今後の指導のポイント〉

- ・地図から情報を読み取り、読み取ったことを関連付けて、その地域の特徴を記述したり、発表したりする授業を行う。  
(参考 SASA2018 指導例 報告書 p82)
- ・地図を補助的に使う授業から、地図を活用して地域の特徴を考えさせる授業を行う。  
(参考 SASA2016 指導例 報告書 p117)
- ・地理的な特徴を、その特徴が生まれた背景も含めて考えさせたり、説明させたりする授業を行う。



【課題②】歴史的事象の背景について、資料をもとに考察し、適切に説明することに課題がある。

大問4(3) 正答率 14.46% 無答率 2.94%

(3) 下線の部分④について、資料3の法律が明治時代末期に制定された目的を、資料4をふまえて書け。

資料3

第三条 工場主は…  
女子に対して、一日に  
ついて、一二時間を超  
えて仕事につかせる  
ことはできない。

(「工場法」より作成)

資料4 ある製糸場の女工の1日

起床	4:05~
仕事	4:30~6:00
朝食	6:00~6:15
仕事	6:15~10:30
昼食	10:30~10:45
仕事	10:45~15:30
休憩	15:30~15:40
仕事	15:40~19:30
入浴	19:30~21:00

(「職工事情」より作成)

【解答例】女子(女工)が、長時間労働だったので、労働時間に制限を設けようとしたため。

#### 〈誤答分析〉

- ・「女子は重労働であった」「女子の労働時間が長時間だった」といったように、資料4の内容だけを単純に読み取っただけの誤答が7割ほどであった。  
→資料3の法律が制定された目的について、明治時代に女子の労働時間を制限するために工場法が出された経緯と関連付けて記述できていない。  
→明治時代に起きた産業革命によって労働環境が急速に悪化したという歴史的背景を正しく理解できていないため、資料3と資料4を結びつけて考察し、説明できていない。

#### 〈今後の指導のポイント〉

- ・資料を通して時代の特色や背景などを考えさせる授業を行う。  
(参考 SASA2017 指導例 報告書 p96)
- ・時代のターニングポイントを中心に、社会の変化について説明する活動を通じて、時代を大観し表現する力を養う。(参考 SASA2015 指導例 報告書 p112)
- ・どの時代も「当時の民衆の生活」については、印象が薄くなりがちなので、様々な資料を取り上げ、民衆の生活の様子を丁寧に読み取らせていく。(参考 SASA2016 指導例 報告書 p117)

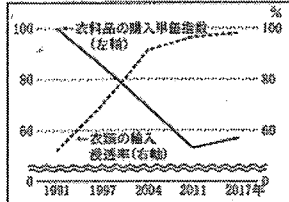
【課題③】現代の社会的事象について、複数の資料や情報を関連付けて説明することに課題がある。

大問4(5) a 正答率 10.05% 無答率 2.70%  
 b 正答率 12.75% 無答率 8.33%

(6) 下線の部分⑥について、いつきさんは日本の繊維産業が抱える課題と福井県の企業によるその課題への対策について調べた。

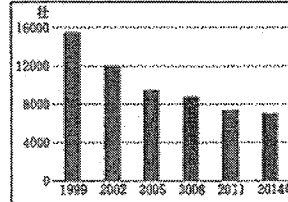
- a 国内の繊維産業が抱える課題を、資料6と資料7をふまえて書け。
- b aの課題に対し、福井県の企業がどのような対策を取っているか、資料8と資料9をふまえて書け。

資料6 衣料品の購入単価指数(1991年を100とする)と衣類の輸入浸透率



(経済産業省資料および総務省「家計調査」より作成)

資料7 従業員10人以上の日本国内の繊維産業事業所数の変化



(経済産業省資料より作成)

資料8

福井県では繊維産業の炭素繊維分野への参入を進めており、航空機分野では県内企業が製造する炭素繊維機材が採用されるなど一定の成果を上げてきた。

(福井県ホームページより作成)

資料9

【人工衛星用ブランケット】ロケット打ち上げ時および飛行時の過酷な音響環境から人工衛星を守る。特殊な繊維加工技術と高度な縫製技術を駆使して、防音材を開発した。

(福井県「実は福井」の技」より作成)

【解答例】

- a 安価な衣料品が求められ、国内生産の衣料が売れなくなったため、経営不振に陥ったこと。
- b 福井県の繊維産業の高い技術を生かして、衣料以外の分野で価値の高い製品を作っている。

〈誤答分析〉

- ・ aについては、「衣類の輸入浸透率が上がっている」「衣類の購入単価が下がってきている」という、グラフそれぞれが示すことしか読み取れていない誤答が8割ほどあった。  
 →複数の資料を組み合わせ思考し、何が繊維産業の課題であるのかを判断することができていない。
- ・ bについては、「繊維を航空機に使った」「繊維をロケットに使った」という誤答が多く、付加価値の高い製品を作ったという記述ができていない。  
 →産業の空洞化に対して国内企業がどのような努力をしているのかという概念を理解できておらず、資料に書かれている内容をそのまま読み取ることしかできていない。

[SASAで指摘された課題]

- ・ SASA2018 C1(1) 資料から、生活への影響が見られた理由を説明することができる。

40.0%

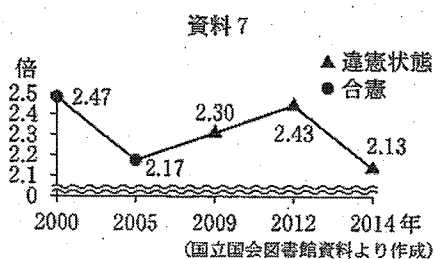
〈今後の指導のポイント〉

- ・ 資料から情報を読み取ることと、読み取った情報をどのように解釈するかを明確に区別する。  
 (参考 SASA2016 指導例 報告書 p120)
- ・ 生徒が自分の思考や意見を表現する活動を通して、複数の資料同士を比較したり関連付けたりできるように授業構成を工夫する。(参考 SASA2019 指導例 報告書 p90)
- ・ 国際化が進む社会の中で、日本企業がどのように対応しているのか様々な事例をもとに考えさせる授業を行う。

【課題④】現代の社会的事象の背景について、資料が示している内容を判断して説明することに課題がある。

大問5(6)説明 正答率 7.35% 無答率 21.32%

(6) 年表の⑥について、つむぎさんは、衆議院小選挙区選挙でみられたことを資料7としてまとめた。資料7に示されるように、違憲状態と判決が下った理由を簡潔に説明せよ。



【解答例】一票の格差があり、法の下での平等に反しているから。

〈誤答分析〉

- ・「一票の格差」について示されている解答が2割ほどしかなく、無答率も21.32%と高い。  
→資料が「一票の格差」について示していることが判断できていない。資料が何を示しているのが正しく捉えられていないため、選挙制度が抱える問題点を説明できていない。

〈今後の指導のポイント〉

- ・それぞれの資料を読み取るための基礎的な知識や視点を一つ一つ押さえる。  
(参考 SASA2019 指導例 報告書 p90)
- ・資料から情報を読み取ることと、読み取った情報をどのように解釈するかを明確に区別する。  
(参考 SASA2016 指導例 報告書 p120)
- ・普段の授業で新聞を活用し、現在起きている社会の諸問題と教科書の内容を関連付けて指導する。

# 数学A

## 1 R02年度入試 数学(調査人数 142人)

大問	小問	配点	平均点	正答率	無答率	出題形式			履修 学年	課題	B受験者 の正答率	
						選択	短答	記述				
1	(1)	ア	4	3.63	90.14%	0.00%		○		1		96.10%
		イ	4	2.84	62.68%	4.93%		○		3		96.10%
		ウ	4	3.49	86.62%	0.70%		○		2		96.45%
	(2)		5	3.62	64.08%	8.45%		○		3		
	(3)		5	3.21	52.11%	13.38%		○		3		80.85%
	(4)		6	3.43	45.07%	0.70%	○			1	課題①	
	(5)		6	3.02	48.59%	2.82%		○		3	課題②	85.82%
	(6)		6	0.51	2.82%	21.13%			○	1		15.96%
2	(1)		5	2.72	47.89%	11.27%		○		3		
	(2)		5	2.90	56.34%	2.82%		○		3		
	(3)	ア	6	4.32	54.93%	5.63%		○		1		
		イ	4	1.77	35.92%	16.20%		○		1		
3	(1)		4	2.91	68.31%	4.93%		○		2		92.20%
	(2)		6	1.98	27.46%	14.08%		○		2		63.83%
4	(1)		2	0.53	20.42%	14.79%		○		2		76.95%
	(2)	ア	4	0.79	9.15%	30.99%		○		2	課題③	54.61%
		イ	4	0.62	4.23%	70.42%		○		2		40.43%
5	(1)		8	2.59	16.90%	4.93%		○		3	課題④	68.79%
	(2)	ア	8	1.46	4.93%	19.72%			○	3		30.85%
		イ	4	0.01	0.00%	43.66%		○		3		1.42%
合計			42.71									

※20%未満に網掛け ※15%超過に網掛け

※20%未満に網掛け

記述問題の総得点

14点

## 2 全体概要

良好

- 単項式の乗法・除法を正しく計算することができる。 大問1 (1) ウ
- 与えられた資料から代表値を正しく読み取ることができる。 大問2 (3) ア
- 条件に合った場合の数を正しく数え上げ、確率を求めることができる。 大問3 (1)

課題

- 関数の性質とグラフの特徴を理解することに課題がある。 大問1 (4)
- 円周角の定理の逆を利用して、角度を求めることに課題がある。 大問1 (5)
- 問題の情報を整理し、数量の関係を文字式に表すことに課題がある。 大問4 (2) ア
- 図形の中から必要な情報を読み取り、それを適切に活用することに課題がある。 大問5 (1)

## 3 問題の概要

大問1	小問題 (2),(4)以外はA B 共通問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数と式、図形、関数に関する基本的な問題</li> <li>・数量や図形などに関する基礎的な概念や知識と、それを正しく処理する技能を求めている。</li> </ul>
大問2	関数、資料の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B問題とは異なる問題</li> <li>・関数の知識に関する基本的な問題</li> <li>・2次関数の式から変化の様子について読み取る力を求めている。</li> <li>・資料の活用に関する基本的な問題</li> <li>・ヒストグラムから代表値を読み取る力を求めている。</li> </ul>
大問3	確率 (A B共通問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率の計算に関する基本的な問題</li> <li>・確率の意味を正しく理解し、条件に合った場合の数を正しく数え上げる力を求めている。</li> </ul>
大問4	連立方程式 (A B共通問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連立方程式を利用して解く問題</li> <li>・条件を整理し、正しく立式するとともに、正確に数式を処理する力を求めている。</li> </ul>
大問5	平面図形 (A B共通問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三平方の定理や相似、平行線に関する性質などの知識や概念を用いて解決する問題</li> <li>・証明に用いる根拠を的確に示し、見通しをもって説明する力を求めている。</li> </ul>

#### 4 誤答分析と今後の指導のポイント

【課題①】関数の性質とグラフの特徴の理解に課題がある。

大問1(4) 正答率45.07% 無解答0.70%

(4) 次のア～エから正しいものをすべて選んで、その記号を書け。

ア 方程式 $x=5$ のグラフは $y$ 軸に平行な直線である。

イ 関数 $y=x+3$ のグラフは点(1, 3)を通る。

ウ  $y$ が $x$ に比例するとき、 $a$ を定数として、 $y=ax$ と表せる。

エ 反比例の関係 $y=\frac{4}{x}$ で $x$ の値が2倍になると、 $y$ の値も2倍になる。

【解答例】

ア、ウ

〈誤答分析〉

- ・「イ」または「エ」を選択している誤答が合わせて約3割を占めている。  
→「グラフの形」や「グラフ上にある点の特徴」、「比例、反比例の関係」など、関数の性質やグラフの特徴を捉えられていないため、正しいものを選択できていないと考えられる。

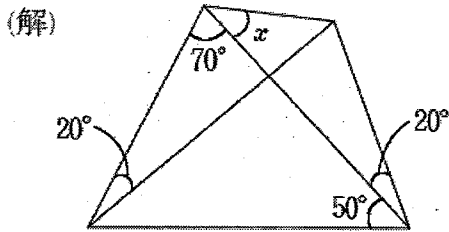
〈今後の指導のポイント〉

- ・グラフ上にある点をいくつかとることでグラフの形や特徴をつかみ、表・式・グラフを相互に関連付けながら関数の性質を捉え、文章でまとめたりする活動を行う。また、ICTを有効に活用しながら、さまざまなグラフの特徴を確認する活動を行う。

【課題②】円周角の定理の逆を利用して、角度を求めることに課題がある。

大問1 (5) 正答率 48.59% 無答率 2.82%

1 (5) 下の図の  $\angle x$  の大きさを求めよ。



【解答例】

(5)  $40^\circ$

〈誤答分析〉

毎年出題されている角度を求める問題である。昨年度の問題は「五角形の内角の和」を利用した問題で正答率は75.45%であった。今年度は「四角形の内角の和」に加え、「円周角の定理の逆」を利用した問題であり、昨年度よりはやや難化した。正答率は48.59%と予想よりも大幅に減少した。

- ・  $50^\circ$  としている解答  
→上下の向かい合う辺が平行であると勘違いして、錯角が等しいとしている。
- ・  $45^\circ$  としている解答  
→上部の三角形が直角二等辺三角形であると勘違いしている。

誤答の答案に共通して言えることは、「円周角の定理の逆」が利用できることに気付いていないことである。外接する円が描かれていないことから、与えられた図形のみにとらわれてしまっていると考えられる。

〈今後の指導のポイント〉

図形の中から読み取れる情報を整理し、根拠を明確にして、活用できる図形の性質や定理を見出す活動を行う。

【課題③】問題の情報を整理し、数量の関係を文字式や方程式に表すことに課題がある。

大問4(2)ア 正答率 9.15% 無答率 30.99%

4 ある博物館の入館料は、小学生260円、中学生と高校生はともに410円、大人760円である。ある日の入館者数を調べると、中学生と高校生の合計入館者数は小学生の入館者数の2倍であり、大人の入館者数は小学生、中学生、高校生の合計入館者数よりも100人少なかった。この日の小学生の入館者数を $x$ 人、大人の入館者数を $y$ 人とするとき、次の問いに答えよ。

(2) さらに、この博物館では1個550円のおみやげを売っており、総入館者数の8割の人が購入した。この日の総入館者の入館料の合計とおみやげの売り上げをあわせた金額は150,000円で、おみやげを2個以上買った人はいなかった。

ア  $x$ 、 $y$  についての連立方程式をつくれ。

(解)

答


【解答例】

$$(2) \text{ア} \begin{cases} y = 3x - 100 \\ 260x + 410 \times 2x + 760y + 550 \times (3x + y) \times 0.8 = 150000 \end{cases}$$

〈誤答分析〉

- ・「8割」を $1/8$ 倍、 $10/8$ 倍、 $0.08$ 倍、 $0.2$ 倍 とする誤答  
→割合の計算の仕方を理解していない。
- ・「総入館者数の8割」を $(\text{入館料単価}) \times 0.8$ 、 $(\text{合計金額}) \times 0.8$  とする誤答  
→基準量(総入館者数)が何かを正確に捉えられず文字式に表すことができていない。
- ・「総入館者の入館料の合計とおみやげの売り上げを合わせた金額」の関係式を、  
(おみやげの売り上げ) = 150000  
(総入館者数) + (おみやげの売り上げ) = 150000  
(総入館者の入館料の合計) + (おみやげの単価) = 150000 と立式する誤答  
→与えられた多くの情報から数量の関係を正確に捉えられず、何を基準とした関係式なのかを整理しきれていない。

[SASAで指摘された課題]

- ・SASA2018 3(2) 数量の関係(基準量、比較量、割合)を、文字式に表すこと
- ・SASA2017 3 式を用いて数量の関係や法則などを表したり、式の意味を読み取ったりすること

〈今後の指導のポイント〉

- ・割合の計算の仕方など既習内容を確認した上で、基準量、比較量、割合の関係を明確にして文字式に表す活動を行う。さらに、方程式を立てる際には何を基準とした関係式なのかを言葉で表すなどして、整理する活動を行う。

(参考 SASA2018 指導例 報告書 p96)

(参考 SASA2017 指導例 報告書 p115~119)



【課題④】図形の中から必要な情報を読み取り、それを適切に活用することに課題がある。

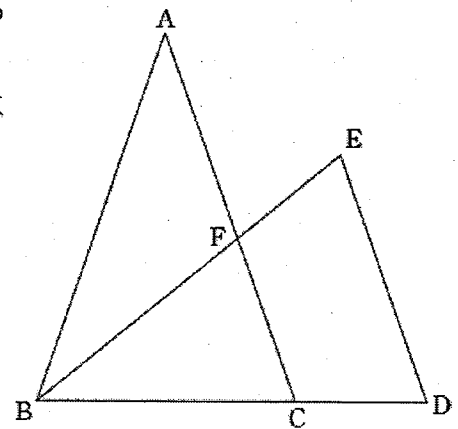
大問5 (1) 正答率 16.90% 無答率 4.93%

- 5 右の図において、 $\triangle ABC$ は $AB=AC=6\text{cm}$ 、 $BC=4\text{cm}$ の二等辺三角形であり、 $\triangle BDE$ は $\triangle ABC$ と合同である。また、点 $C$ は線分 $BD$ 上にあり、点 $F$ は線分 $AC$ と線分 $BE$ の交点である。

このとき、次の問いに答えよ。

- (1)  $\triangle ABC$ の面積および、線分 $CF$ の長さを求めよ。

(解)



【解答例】

(1)  $\triangle ABC = 8\sqrt{2} \text{ (cm}^2\text{)}$      $CF = \frac{8}{3} \text{ (cm)}$

〈誤答分析〉

- $\triangle ABC$ の面積は比較的できているが、 $CF$ の長さが求められていない。  
→図形の中から必要な情報を読み取ることができず、 $\triangle BCF \sim \triangle BDF$ に気付いていない。
- $CF=3$ としている誤答  
→ $\triangle BDE$ において中点連結定理が成り立つと勘違いしている。
- $CF=2\sqrt{5}$ としている誤答  
→三平方の定理を誤用し、 $x^2 + 4^2 = 6^2$ と立式している。

〈今後の指導のポイント〉

- 図形の中から読み取れる情報をペアやグループで確認し合い、根拠を明確にして、活用できる公式や定理を見い出す活動を行う。

# 数学B

## 1 R02年度入試 数学(調査人数 282人)

大問	小問	配点	平均点	正答率	無答率	出題形式			履修 学年	課題	A受験者 の正答率	
						選択	短答	記述				
1	(1)	ア	4	3.86	96.10%	0.00%		○		1		90.14%
		イ	4	3.88	96.10%	0.00%		○		3		62.68%
		ウ	4	3.86	96.45%	0.00%		○		2		86.62%
	(2)		5	4.10	80.85%	0.35%		○		3		52.11%
	(3)		5	3.61	58.51%	0.35%			○	1		
	(4)		6	5.19	85.82%	0.35%		○		3		48.59%
	(5)		6	2.58	14.54%	5.67%			○	2	課題③	
	(6)		6	1.35	15.96%	15.96%			○	1		2.82%
2	(1)		4	3.70	92.20%	0.35%		○		2		68.31%
	(2)		6	3.91	63.83%	0.71%		○		2		27.46%
3	(1)		2	1.61	76.95%	0.35%		○		2		20.42%
	(2)	ア	4	2.81	54.61%	3.55%		○		2	課題①	9.15%
		イ	4	2.54	40.43%	35.82%		○		2		4.23%
4	(1)		8	6.45	68.79%	0.00%		○		3		16.90%
	(2)	ア	8	3.93	30.85%	2.13%			○	3	課題②	4.93%
		イ	4	0.12	1.42%	37.01%		○		3		0.00%
5	(1)		2	1.78	86.17%	1.42%		○		3		
	(2)		5	1.39	9.22%	15.96%			○	3	課題③	
	(3)		5	3.33	52.84%	2.13%			○	3	課題④	
	(4)		4	0.94	3.90%	39.36%		○		3		
	(5)		4	0.21	0.35%	59.22%		○		3		
合計			58.74									

※20%未満に網掛け ※15%超過に網掛け

※20%未満に網掛け

記述問題の総得点

35点

## 2 全体概要

### 良好

- 二次方程式の解を正しく求めることができる。 大問 1 (2)
- 条件に合った場合の数を正しく数え上げ、確率を求めることができる。 大問 2 (1)
- 関数のグラフ上の点の座標を正しく求めることができる。 大問 5 (1)

### 課題

- 問題の情報を整理し、数量の関係を文字式に表すことに課題がある。 大問 3 (2) ア
- 2つの三角形の相似であることを、根拠を明確にして証明することに課題がある。 大問 4 (2) ア
- 問題解決の場面で、文字式を用いて説明することに課題がある。 大問 1 (5)
- 大問 5 (2)
- 二次関数の式とグラフの関係を捉えることに課題がある。 大問 5 (3)

## 3 問題の概要

大問 1	小問題 (3),(5)以外は A B 共通問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数と式、図形、関数に関する基本的な問題</li> <li>・数量や図形などに関する基礎的な概念や知識と、それを正しく処理する技能を求めている。</li> </ul>
大問 2	確率 (A B 共通問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率の計算に関する基本的な問題</li> <li>・確率の意味を正しく理解し、条件に合った場合の数を正しく数え上げる力を求めている。</li> </ul>
大問 3	連立方程式 (A B 共通問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連立方程式を利用して解く問題</li> <li>・条件を整理し、正しく立式するとともに、正確に数式を処理する力を求めている。</li> </ul>
大問 4	平面図形 (A B 共通問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三平方の定理や相似、平行線に関する性質などの知識や概念を用いて解決する問題</li> <li>・証明に用いる根拠を的確に示し、見通しをもって説明する力を求めている。</li> </ul>
大問 5	関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A問題とは異なる問題</li> <li>・2つの2次関数のグラフによって作られる図形と2次関数の係数との関係を考察する問題</li> <li>・関数的な見方、考え方を活用して問題を解決する力を求めている。</li> </ul>

#### 4 誤答分析と今後の指導のポイント

【課題①】問題の情報を整理し、数量の関係を文字式や方程式に表すことに課題がある。

大問3 (2)ア 正答率 54.6% 無答率 3.6%

3 ある博物館の入館料は、小学生260円、中学生と高校生はともに410円、大人760円である。ある日の入館者数を調べると、中学生と高校生の合計入館者数は小学生の入館者数の2倍であり、大人の入館者数は小学生、中学生、高校生の合計入館者数よりも100人少なかった。この日の小学生の入館者数を $x$ 人、大人の入館者数を $y$ 人とするとき、次の問いに答えよ。

(2) さらに、この博物館では1個550円のおみやげを売っており、総入館者数の8割の人が購入した。この日の総入館者の入館料の合計とおみやげの売り上げをあわせた金額は150,000円で、おみやげを2個以上買った人はいなかった。

ア  $x, y$  についての連立方程式をつくれ。

(解)

答

{	
{	

【解答例】

(2) ア 
$$\begin{cases} y = 3x - 100 \\ 260x + 410 \times 2x + 760y + 550 \times (3x + y) \times 0.8 = 150000 \end{cases}$$

〈誤答分析〉

- ・「8割」を  $1/8$  倍、 $10/8$  倍、 $0.08$  倍、 $0.2$  倍 とする誤答  
→割合の意味を理解していない。
- ・「総入館者数の8割」を (入館料単価)  $\times 0.8$ 、(合計金額)  $\times 0.8$  とする誤答  
→基準量が何かを正確に捉えられず文字式に表すことができない。
- ・「総入館者の入館料の合計とおみやげの売り上げを合わせた金額」の関係式を、  
(おみやげの売り上げ) = 150000  
(総入館者数) + (おみやげの売り上げ) = 150000  
(総入館者の入館料の合計) + (おみやげの単価) = 150000 と立式する誤答  
→与えられた多くの情報から数量の関係を正確に捉えられず、何を基準とした関係式なのかを整理しきれていない。

[SASAで指摘された課題]

- ・SASA2018 3(2) 数量の関係(基準量、比較量、割合)を、文字式に表すこと
- ・SASA2017 3 式を用いて数量の関係や法則などを表したり、式の意味を読み取ったりすること

〈今後の指導のポイント〉

- ・割合の意味など既習内容を確認しながら、基準量、比較量の関係を明確にして文字式に表す活動を行う。さらに、方程式を立てる際には何を基準とした関係式なのかを言葉で表すなどして、整理する活動を行う。

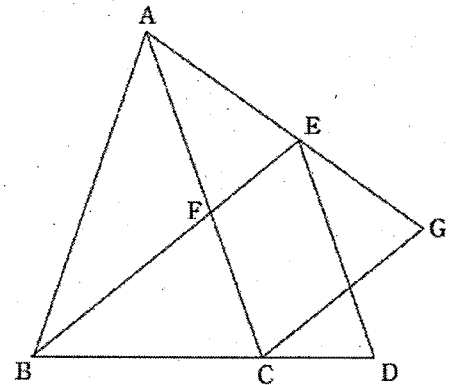
(参考 SASA2018 指導例 報告書 p96)

(参考 SASA2017 指導例 報告書 p115~119)

【課題②】 2つの三角形が相似であることを、根拠を明確にして証明することに課題がある。

大問4 (2) ア 正答率 30.85% 無答率 2.13%

4 右の図において、 $\triangle ABC$ は $AB=AC=6\text{cm}$ 、 $BC=4\text{cm}$ の二等辺三角形であり、 $\triangle BDE$ は $\triangle ABC$ と合同である。また、点 $C$ は線分 $BD$ 上にあり、点 $F$ は線分 $AC$ と線分 $BE$ の交点である。



(2) さらに点 $A$ と点 $E$ を結び、線分 $AE$ を $E$ の方に延長した直線上に、 $AE:EG=5:4$ となる点 $G$ をとり、点 $C$ と点 $G$ を結ぶ。

ア  $\triangle AFE \sim \triangle ACG$ であることを証明せよ。

【解答例】

(2) ア  $\triangle AFE$ と $\triangle ACG$ で、

$\angle FAE$ と $\angle CAG$ は共通だから、 $\angle FAE = \angle CAG$  …… ①

(1) から  $CF = \frac{8}{3}\text{cm}$  だから、 $AF = 6 - \frac{8}{3} = \frac{10}{3}\text{cm}$

よって、 $AF:AC = \frac{10}{3}:6 = 5:9$  …… ②

また、仮定より、 $AE:AG = 5:9$  …… ③

②、③から、 $AF:AC = AE:AG$  …… ④

①、④から、2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しいので、

$\triangle AFE \sim \triangle ACG$

〈誤答分析〉

- ・ 根拠もなく  $FE \parallel CG$  とし、 $\angle AFE = \angle ACG$ 、 $\angle AEF = \angle AGC$  を示している誤答  
→ 三角形の相似条件である「2つの角がそれぞれ等しい」を利用し、相似を証明しようとしている。
- ・ (1) で求めた  $CF = \frac{8}{3}$  を利用せず、 $AF:AC = 5:9$  としている誤答 (解答例の②について)  
→ 線分の長さの比を根拠を示さずに予想している。
- ・  $AF:AC = AE:AG$  となる根拠を  $AC=AG$  としている誤答 (解答例の④について)  
→  $AC=AG$  ならば「平行線と線分の比の性質」が成り立つと勘違いしている。

〈今後の指導のポイント〉

- ・ 3つの「三角形の相似条件」をすべて理解させたうえで、与えられた情報から必要な条件を整理し、根拠を明確にして説明する活動を行う。

【課題③】 問題解決の場面で、文字式を用いて説明することに課題がある。

大問 1 (5) 正答率 14.54% 無解答 5.67%

- 1 (5) 一の位が3である2けたの整数がある。この整数を2乗した数を10で割ると余りが9となることを文字式を使って説明せよ。

【解答例】

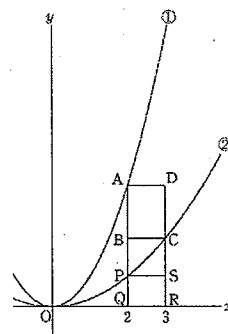
- (5) (説明) 十の位を  $a$  とすると、この数は、 $10a+3$  と表される。2乗すると  $(10a+3)^2=100a^2+60a+9=10(10a^2+6a)+9$  となり、 $10a^2+6a$  は整数だから、 $(10a+3)^2$  を10で割ると余りが9となる。

〈誤答分析〉

- ・十の位を  $x$  として、2桁の整数を  $x3$ 、 $x+3$  としている誤答  
→2桁の整数を正しく文字式に表すことができていない。
- ・ $\frac{(10x+3)^2}{10}=9$  としている誤答や、 $\frac{(10x+3)^2}{10}=10x^2+6x+\frac{9}{10}$  と計算した後に余りが9であることを説明できていない誤答  
→「10で割ったときの余り9」を、 $10 \times (\text{整数}) + 9$  と表すことを理解していない。
- ・「 $13^2=169$ 、 $169 \div 10=16 \cdots 9$ 」のように具体例を一つ示して説明している誤答  
→具体例を示すことで、すべての数について成り立つと勘違いしている。

大問 5 (2) 正答率 9.22% 無解答 15.96%

- 5 関数  $y=x^2$  ……①, 関数  $y=ax^2$  ( $0 < a < 1$ ) ……②のグラフがある。直線  $x=2$  と①, ②,  $x$  軸との交点をそれぞれ  $A$ ,  $P$ ,  $Q$  とする。直線  $x=3$  と②,  $x$  軸との交点をそれぞれ  $C$ ,  $R$  とする。また、点  $A$  を通り  $x$  軸に平行な直線と直線  $x=3$  との交点を  $D$ , 点  $P$  を通り  $x$  軸に平行な直線と直線  $x=3$  との交点を  $S$  とし、点  $C$  を通り  $x$  軸に平行な直線と直線  $x=2$  との交点を  $B$  とする。



- (2) 長方形  $BPSC$  の面積と長方形  $PQRS$  の面積は等しくなることを、言葉や数、式などを使って説明せよ。

【解答例】

- (2) (説明) 点  $B(2, 9a)$ ,  $P(2, 4a)$ ,  $Q(2, 0)$ ,  $C(3, 9a)$ ,  $S(3, 4a)$ ,  $R(3, 0)$  だから、長方形  $BPSC$  の面積は  $5a \times 1 = 5a$ , 長方形  $PQRS$  の面積は  $4a \times 1 = 4a$  である。 $0 < a < 1$  において、つねに面積比は  $5:4$  だから面積は等しくならない。

〈誤答分析〉

- ・(1)の問題設定のまま  $a=\frac{1}{3}$  として長方形  $BPSC$  の面積  $=\frac{5}{3}$ 、長方形  $PQRS$  の面積  $=\frac{4}{3}$  と求め、2つの長方形が等しくならないと説明している誤答  
→ $a=\frac{1}{3}$  の場合だけ考えればよいと勘違いしている。

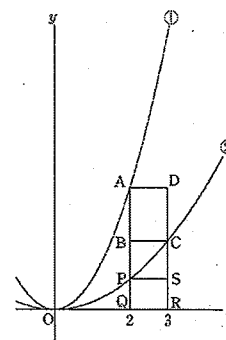
〈今後の指導のポイント〉

- ・具体例を挙げるだけではすべての場合において成り立つとはいえないことを理解させ、文字式を使って一般的に事象を説明することの必要性を感じさせる。また、正しく文字式を活用できているかを互いに確認し合う活動を行う。

【課題④】二次関数の式とグラフの関係を捉えることに課題がある。

大問5 (3) 正答率 52.84% 無答率 2.13%

5 関数  $y=x^2$  ……①, 関数  $y=ax^2$  ( $0 < a < 1$ ) ……② のグラフがある。直線  $x=2$  と①, ②,  $x$  軸との交点をそれぞれ A, P, Q とする。直線  $x=3$  と②,  $x$  軸との交点をそれぞれ C, R とする。また, 点 A を通り  $x$  軸に平行な直線と直線  $x=3$  との交点を D, 点 P を通り  $x$  軸に平行な直線と直線  $x=3$  との交点を S とし, 点 C を通り  $x$  軸に平行な直線と直線  $x=2$  との交点を B とする。



(3) 下の【説明文】は,  $a$  の値を変化させたときの 2 点 C, D の  $y$  座標の大小関係について説明したものである。

【説明文】  $a = \boxed{\text{ア}}$  のとき, 点 C の  $y$  座標と点 D の  $y$  座標は等しい。  
 だから,  $0 < a < \boxed{\text{ア}}$  のとき, 点 C の  $y$  座標は点 D の  $y$  座標より  $\boxed{\text{イ}}$ 。  
 $\boxed{\text{ア}} < a < 1$  のとき, 点 C の  $y$  座標と点 D の  $y$  座標より  $\boxed{\text{ウ}}$ 。

【説明文】の中の  $\boxed{\text{ア}}$  にあてはまる数を書け。また,  $\boxed{\text{イ}}$ ,  $\boxed{\text{ウ}}$  にあてはまる言葉を書け。

【解答例】

(3) ア  $\frac{4}{9}$  イ 小さい ウ 大きい

〈誤答分析〉

二次関数  $y=ax^2$  の  $a$  の値によってグラフが変化し, それに伴い, 点 C, D の  $y$  座標の大小関係が変わることに気付かせる問題である。穴埋め形式であり, どのような視点で場合分けをすればよいか示されているので比較的思考しやすいはずだが, 正答率は約 5 割と予想より低かった。

誤答の中では, イ, ウ が間違っているものが誤答のうちの約 7 割もあり,  $x^2$  の係数の大小とグラフの凸の開きの関係について理解できていないためと考えられる。

〈今後の指導のポイント〉

- ・二次関数の係数とグラフの傾きを理解させるために, 実際にグラフをかく活動を行う。
- ・ICT を活用して, 二次関数の係数の値をいろいろ変えながら, グラフの形がどのように変化するかを捉えさせる活動を行う。

# 理科

## 1 R2年度入学者選抜 理科(調査人数408人)

大問	小問	配点	平均点	正答率	無答率	出題方式			履修学年	課題	
						選択	短答	記述			
1	(1)	2	1.51	75.74%	0.00%	○			1		
	(2)	3	1.68	44.85%	1.96%			○	1		
	(3)	2	1.53	76.47%	0.25%	○			1		
	(4)	3	1.25	34.07%	0.49%	○	○		3		
	(5)	2	1.73	84.56%	2.45%		○		3		
2	(1)	2	1.93	94.12%	1.72%		○		1		
	(2)	2	0.9	45.07%	0.00%	○			2		
	(3)	2	1.79	88.24%	1.47%		○		2		
	(4)	3	0.68	18.14%	3.43%			○	2		
	(5)	2	0.97	41.18%	4.90%			○	2		
	(6)	2	1.4	68.38%	1.96%		○		2		
3	(1)	3	0.28	7.84%	2.45%			○	3	課題①	
	(2)	3	1.85	59.07%	0.74%			○	3		
	(3)	3	2.63	87.50%	0.00%	○			3		
	(4)	南中高度	2	0.54	25.00%	7.35%		○		3	
	(4)	緯度	2	0.52	23.53%	9.31%		○		3	
4	(1)	2	1.03	50.25%	2.21%		○		1		
	(2)	2	1.89	93.14%	0.98%		○		1		
	(3)	2	1.44	70.10%	1.72%			○	1		
	(4)	2	0.96	47.55%	1.23%		○		1		
	(5)	2	1.06	51.23%	2.94%		○		1		
	(6)	2	0.64	32.11%	0.25%	○			1		
5	(1)	2	1.77	86.27%	0.25%	○			3		
	(2)	3	0.84	26.60%	5.17%		○		1	課題②	
	(3)	2	1.32	66.18%	0.00%	○			3		
	(4)	3	1.32	41.52%	0.49%	○	○		3-1		
	(5)	2	0.76	37.75%	0.25%	○			3		
6	(1)	2	1.53	75.25%	0.49%		○		3		
	(2)	3	1.79	53.43%	9.07%			○	3		
	(3)	2	1.84	88.73%	3.19%		○		3		
	(4)	水素	2	1.01	50.49%	0.49%	○			3	
	(4)	ナトリウム	2	0.76	37.99%	0.49%	○			3	
	(5)		2	0.68	33.82%	0.74%	○			3	
7	(1)	2	0.96	44.12%	1.96%			○	1		
	(2)	3	1.13	37.75%	0.00%	○			1		
	(3)	2	1.82	89.46%	0.49%		○		1		
	(4)	3	0.69	23.10%	0.25%	○			1		
	(5)	3	0.54	17.89%	0.00%	○			1	課題③	
8	(1)	2	0.92	39.22%	0.74%	○			2		
	(2)	3	2.33	72.73%	6.39%		○		2		
	(3)	記号	2	0.86	42.40%	1.47%	○			2	
	(3)	グラフ	2	1.09	48.77%	10.54%			○	2	
	(4)		3	0.27	6.62%	8.09%			○	3	課題④
合計			49.76								

※20%未満に網掛け ※15%超過に網掛け

記述問題の総配点 26点
-----------------



## 2 全体概要

良好

○重要なキーワードを正しく理解している。

大問1 (5) 大問2 (1) (3) 大問4 (2) 大問6 (3) 大問7 (3)

○太陽を観察した結果からわかることを正しく指摘することができる。 大問3 (3)

○水溶液の種類による電流の流れ方の違いについて正しく理解している。 大問5 (1)

課題

●天体望遠鏡の仕組みや操作について正しく理解することに課題がある。 大問3 (1)

●水溶液をすすめて異なる濃度にするために必要な水の質量を求めることに課題がある。  
大問5 (2)

●光が屈折するときの規則性を基に、光の進み方を推測することに課題がある。大問7 (5)

●熱の伝わり方の規則性を基に、水温の変化を推測することに課題がある。 大問8 (4)

## 3 問題の概要

大問 1	植物の世界 生命の連続性	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の分類</li> <li>生物の成長と生殖</li> <li>植物の分類に関して、植物のからだのつくりとはたらきについて正しく指摘する力を求めている。</li> </ul>
大問 2	動物の生活と生物の変遷	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物のからだのつくりとはたらき</li> <li>消化と吸収のしくみを正しく理解し、実験の方法や結果について考察する力を求めている。</li> </ul>
大問 3	地球と宇宙	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇宙の広がり</li> <li>天体望遠鏡での太陽の観察について正しい使い方を理解し、観察した結果について考察する力を求めている。</li> </ul>
大問 4	大地の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>火をふく大地</li> <li>地層から読み取る大地の変化</li> <li>火山や地層について観察されたことを基に、大地の変化について推測する力を求めている。</li> </ul>
大問 5	化学変化とイオン 身のまわりの物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>水溶液とイオン</li> <li>水溶液の性質</li> <li>気体の性質</li> <li>水溶液や気体の性質について正しく理解し、実験結果について考察する力を求めている。</li> </ul>
大問 6	化学変化とイオン	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸とアルカリとイオン</li> <li>酸とアルカリの中和について正しく理解し、実験結果について考察する力を求めている。</li> </ul>
大問 7	身のまわりの現象	<ul style="list-style-type: none"> <li>音の世界</li> <li>光の世界</li> <li>音や光の性質を正しく理解し、その規則性を基に、実験結果や自然現象について考察する力を求めている。</li> </ul>
大問 8	電気の世界 運動とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>電流の性質</li> <li>エネルギーと仕事</li> <li>電気エネルギーと熱エネルギーについて正しく理解し、実験結果について考察する力を求めている。</li> </ul>

4 誤答分析と今後の指導のポイント

【課題①】天体望遠鏡の仕組みや操作について正しく理解することに課題がある。

大問3 (1) 正答率7.84% 無答率2.45%

3 日本のある地域で、天体望遠鏡を使って太陽の表面を観察する実験を行った。あとの問いに答えよ。

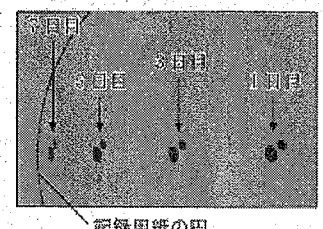
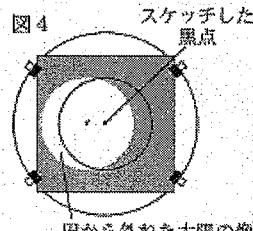
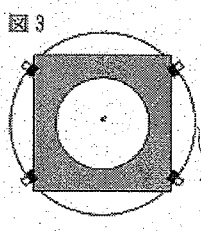
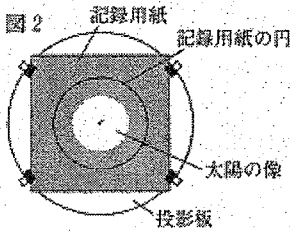
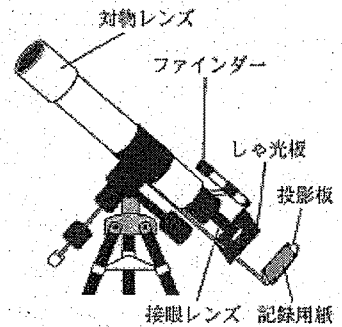
〔実習〕

晴れた日の同じ時刻に、下記の操作を行い、1週間続けて黒点の位置を観察した。

〔操作〕

- ・ 図1のように、望遠鏡に投影板としゃ光板をとりつけ、投影板に記録用紙を固定した。
- ・ 対物レンズを太陽に向けてピントを合わせたところ、図2のように太陽の像が投影された。
- ・ 太陽の像の大きさを記録用紙の円に合わせるための操作をして、図3のようにした。
- A 太陽の像は記録用紙の円から外れていくので、すばやく黒点の位置と形をスケッチし
- B た。なお、図4はスケッチ後に太陽の像が円から外れたときのようすである。
- ・ 観察できた日の黒点は、図5のように1枚の記録用紙に記録した。

図1



〔気づいたこと〕 ① 黒点はしだいに位置を変えていった。

② 1日目に記録した円形の黒点が、7日目にはだ円形に形が変わって見えた。

問(1) 下線の部分Aについて、どのような操作をしたか。「接眼レンズ」「投影板」の2つの語句を用いて簡潔に書け。

【解答例】

投影板を接眼レンズから遠ざける。

〈誤答分析〉

- ・ この問いは、太陽の観察を適切に行うため接眼レンズと投影板の距離をどのように調整するか、具体的な操作方法を問う問題である。
- ・ 誤答としては「接眼レンズと投影板の距離を調節した」など具体的な操作が書かれていないものや、「接眼レンズに投影板を近づけた」など逆の操作を書いたものが、合わせて全体の約3割を占めた。また、「接眼レンズを調整した」「接眼レンズと投影板を重ねた」などの誤答もみられた。  
→接眼レンズと投影板を遠ざけることによって像が大きくなることが理解できていない、あるいは、投影板を動かして像の大きさを調整する方法を理解していない。

〔SASA で指摘された課題〕

- ・ SASA2015 1(2) 実験操作や器具の使い方の意味を理解して観察・実験を行うこと

〈今後の指導のポイント〉

- ・ 天体望遠鏡や顕微鏡などの実験器具を扱う際には、操作の手順だけでなく、器具の原理や仕組み、手順の意味等の理解を重視して指導する。  
→実験器具の数が少ない場合でも、順番に生徒一人一人が器具を扱う機会を設け、また、適切に観察するための方法や、観察の目的に合った操作について、説明し合う活動を取り入れる。  
(参考 SASA2015 指導例 報告書 p145)

【課題②】水溶液をうすめて異なる濃度にするために必要な水の質量を求めることに課題がある。

大問5 (2) 正答率26.60% 無答率5.17%

5 エタノールと水の混合物、塩酸、塩化銅水溶液、砂糖水、水酸化ナトリウム水溶液の5種類の液体を用いて、次の実験を行った。あとの問いに答えよ。

(2) この実験で使用した塩酸は、質量パーセント濃度が30%の塩酸を水でうすめ、5%にしたものである。30%の塩酸10gを用いて5%の塩酸をつくるには、何gの水を加えればよいか書け。

【解答例】

50g

〈誤答分析〉

- ・この問いは、質量パーセント濃度30%の塩酸10gをうすめて、5%の塩酸をつくるのに必要な水の質量を問う問題である。
- ・誤答としては、「60g」が1割以上を占め、このほか「200g」をはじめ、様々な誤答が見られた。濃度や割合の問題は、以前からSASAや全国学力・学習状況調査で指摘されている課題ではあったが、4割程度の正答率を期待していた。しかし、そこまでの正答率は得られなかった。  
→「60g」と答えた生徒は、濃度を6分の1にすることから、30%の塩酸の質量である10gを6倍にした数値を書いている。また、「200g」と答えた生徒は、10gが5%に相当する場合の全体の量を書いている。いずれの場合も、「溶質」「溶媒」「溶液」それぞれの量を把握できていないまま計算しており、質量パーセント濃度の基本的な概念が理解できていない。

[SASAで指摘された課題]

- ・SASA2018 食塩水の濃度が、食塩水の質量に対する食塩の質量の割合であることを理解し、指摘すること
- ・SASA2013 質量パーセント濃度の計算を行い、食塩水に溶けている食塩の値を求めること

〈今後の指導のポイント〉

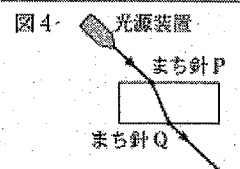
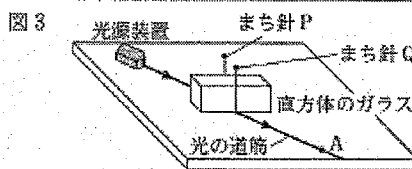
- ・公式を覚えさせ、それに数値を当てはめて濃度を求めさせるのではなく、「溶質」「溶媒」「溶液」それぞれを実体的に捉え、粒子としてイメージしながら互いの関係性を明確にするように指導する。  
→溶質や溶媒を●で表したモデル図や、小さいプラスチック球などのモデルを用いて、溶液中に含まれる溶質と溶媒をともに粒子として捉えさせる。そのうえで、溶質と溶媒の粒子のモデルを混ぜて、溶液中の粒子の割合を視覚的に捉える活動や、粒子のモデルが混ざった状態を言葉で適切に表現する活動を取り入れる。  
(参考 SASA2018 指導例 報告書 p120~121)  
(参考 SASA2013 指導例 報告書 p124~125)

【課題③】光が屈折するときの規則性を基に、光の進み方を推測することに課題がある。

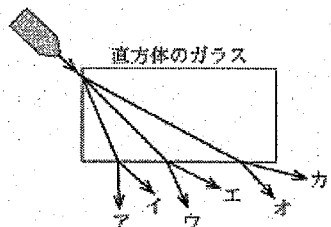
大問 7 (5) 正答率 17.89% 無答率 0.00%

II 空気とガラスの境界での光の進み方について調べるために、次の実験を行った。

【実験】 図3のように直方体のガラスに光を入射し、光の道筋を観た。光が曲がったところにまち針 P, Qを立て、ガラスを通ったあとの道筋上に点 Aをとった。図4は、実験の様子を真上から見た図である。



(5) 図4でガラスを右に平行に移動させ、図5のようにガラスの左の側面に光源装置からの光が入射するようにした。このときの光の道筋として最も適当なものを、図5のア～カから1つ選んで、その記号を書け。



【解答例】

カ

〈誤答分析〉

- ・この問いは、光がガラスを通るとき境界面での屈折の規則性を基に、正しい光の道筋を選択することができるかを問う問題である。
- ・誤答としては、「イ」が約4割、「オ」が約2割を占めている。
  - 図4で示された最初の実験との違いを読み取れておらず、境界面に対する入射角、屈折角の関係を理解していない。
  - 「イ」を選択した生徒は、光の屈折の規則性から考えずに、図4で示された道筋の形状をそのまま当てはめている。また、「オ」を選択した生徒は、1つ目の屈折では規則性を基に考えることができたが、2つ目の屈折ではそれができず、図4と同様にガラスに入射する前の光と平行になってガラスから出ると判断している。

[SASA で指摘された課題]

- ・SASA2019 3(1) 光が屈折するときの規則性を基に、光の進み方を推測すること

〈今後の指導のポイント〉

- ・屈折の法則のポイントは、境界面における媒質の違いと入射角・屈折角の関係であり、境界面の向きや、光の入射する方向がどのような場合であっても、それぞれの境界面に垂直な線を基準として、入射角と屈折角の大小関係を明確にするように指導する。
  - 授業の導入で示すような身近な現象や、レンズでの光の屈折の学習と関係付けるなどして、屈折による様々な自然現象を、入射角と屈折角の関係性を用いて説明する活動を取り入れる。
  - (参考 SASA2019 指導例 報告書 p46～49)

【課題④】熱の伝わり方の規則性を基に、水温の変化を推測することに課題がある。

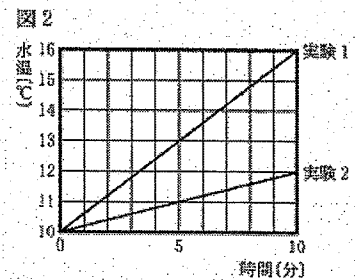
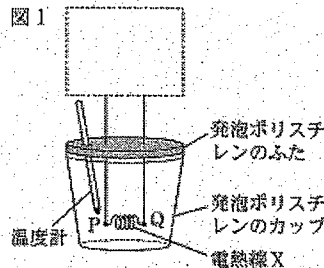
大問 8 (4) 正答率 6.62% 無答率 8.08%

8 電流と熱の関係について調べるために、次の実験を行った。あとの問いに答えよ。

【実験 1】発泡ポリスチレンのカップに 10℃ の水を 200g 入れ、図 1 のような実験装置を用意した。PQ 間に電熱線 X を接続し、 内には、PQ 間に加わる電圧と流れる電流を測定できる回路をつくった。PQ 間に加わる電圧を 4.0V にし、カップの水をゆっくりかき混ぜながら、水温を記録した。

【実験 2】電熱線 X を電熱線 Y に取りかえ、実験 1 と同じ操作を行った。

【結果】実験 1 と実験 2 の結果を図 2 のグラフに示した。なお、発泡ポリスチレンのカップにふたをすることにより、水温の上昇に室温の影響はなかった。



(4) 室温 25℃ に保たれた実験室で、実験 1 を発泡ポリスチレンのふたをはずして行った。このときの水温の上昇は、図 2 の実験結果と比べてどのように変化したと考えられるか。「熱」という語句を使って、変化の理由もあわせて簡潔に書け。

【解答例】

熱が空気から水に伝わるため、水温の上昇が大きくなる。

〈誤答分析〉

・「温められた水の熱が空気中に逃げるため、温度が上がりにくい」など、熱が水から外に逃げていくことを述べた誤答が約 7 割を占めた。

→室温が 25℃、水温が 16℃ 程度なので、ここではカップの外から熱が水に流入する。電熱線で水を温める実験は教科書で必ず扱う実験であり、カップにふたをする理由については、「温められた水から熱が逃げないようにするため」と学習することが多い。しかし、そのことについて理論的に捉えられていないため、この問いにおける実験の条件および、熱の伝導の規則性を基に、高温物体から低温物体に熱が移動するという判断ができていない。

→1つの実験の中で、電気と熱など異なる単元の内容を結びつけて考えることができていない。

〈今後の指導のポイント〉

・カップにふたをして実験をする理由は、熱が逃げるからではなく、「熱の伝導が水と電熱線の間でのみ行われるようにするため」であることを理解させる。

→放置された冷水が次第にぬるくなることなどの生活体験と関係付けて、熱がどこからどこへ伝わったかを考えたり、表現したりする活動が必要である。また、電熱線の発熱は 2 年次、熱の伝わり方は 3 年次で学習する内容であるが、熱の伝わり方を履修したときに電熱線の発熱の実験を振り返り、その内容にも触れるなど、単元間を関係付けた指導を行う。

# 英語A

## 1 R02年度入学者選抜(調査人数 142人)

大問	小問	配点	平均点	正答率	無答率	出題形式			課題	B受験者の正答率	
						選択	短答	記述			
1	(1)	ア	2	0.94	24.65%	9.15%			○		
		イ	2	0.48	11.97%	8.45%			○	課題①	
	(2)		3	1.99	65.49%	1.41%	○				
	(3)		3	1.72	57.04%	0.70%	○				
	(4)		3	1.01	33.10%	1.41%	○				
	(5)	1	2	1.03	50.70%	1.41%	○			課題②	
		2	2	1.03	50.70%	1.41%	○				
		3	2	0.93	45.77%	1.41%	○				
		4	2	1.64	80.28%	0.70%	○				
	(6)		6	2.68	22.54%	2.11%	○				
2	(1)	1	3	1.61	53.52%	0.00%	○				89.72%
		2	3	1.69	56.34%	0.00%	○				88.65%
		3	3	1.73	57.75%	0.00%	○				89.01%
	(2)	1	2	0.73	28.87%	21.13%		○			73.05%
		2	2	0.34	12.68%	19.72%		○		課題③	62.06%
		3	2	1.38	52.82%	20.42%		○			87.59%
	(3)	1	3	1.33	43.66%	1.41%	○				90.07%
		2	3	1.31	43.66%	0.00%	○				69.86%
		3	3	0.95	31.69%	0.00%	○				72.70%
	(4)		6	2.06	8.45%	21.83%			○	課題④	20.57%
3	(1)		3	1.32	43.66%	0.70%	○				86.17%
	(2)		3	1.22	38.73%	2.82%		○			79.79%
	(3)		3	0.91	29.58%	2.82%	○				61.70%
	(4)		3	1.01	32.39%	3.52%	○				70.57%
	(5)		3	1.38	44.37%	3.52%	○				81.91%
	(6)	1	3	0.74	23.94%	3.52%	○				76.24%
		2	3	1.29	41.55%	3.52%	○				85.46%
		3	3	0.68	21.83%	4.23%	○				81.56%
4		3	1.09	35.21%	3.52%	○				83.69%	
4		16	7.33	5.63%	8.45%			○	課題④		
合計			41.38								

※20%未満に網掛け

※20%未満に網掛け ※15%超過に網掛け

記述問題の総配点

26点

## 2 全体概要

良好	○英文を読んで、人物の考えや必要な情報を読み取ることができる。	大問1 (2)、(3)
課題	●必要な情報を読み取り、英語の問いに英語で答えることに課題がある。	大問1 (1) イ
	●英文の要点をつかむことに課題がある。	大問1 (5)
	●必要な情報を聞き取り、英語で表現することに課題がある。	大問2 (2) 2
	●自分の考えを英語で表現することに課題がある。	大問2 (4) 大問4

## 3 問題の概要

大問1	長文を読んで設問に答える問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B問題とは異なる問題</li> <li>・高校生の卓也が、ボランティアを続ける老人から学んだことを生かして生徒会活動を活性化させた成功体験についての英文スピーチ (666語 B問題: 729語)</li> <li>・内容に関する英語の問いに英語で答える力を問う問題</li> <li>・卓也の心情の変化や卓也に影響を与えた出来事などについて、正確に読み取る力を問う問題</li> <li>・卓也が学んだ、周囲を巻き込んで物事に取り組む際の大切なことについて、正確に読み取る力を問う問題</li> <li>・英文の要点を英語でまとめる力を問う問題</li> </ul>
大問2	放送による聞き取りの問題 (A B問題共通)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然な口調で話される対話、留学先での学校図書館の利用方法の説明、ホームステイにおけるアドバイスに関する内容</li> <li>・必要な情報や話の要点を聞き取る力を問う問題</li> <li>・聞き取った話の要点を英語で表現する力を問う問題</li> <li>・聞き取った対話の内容を踏まえて、自身が望むボランティア活動について英語で表現する力を問う問題</li> </ul>
大問3	対話文と資料を読んで設問に答える問題 (A B問題共通)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界各国・地域への外国人訪問者数に関するグラフと、外国人旅行者が日本を訪問する目的に関する表をもとに展開される4人の会話文 (511語)</li> <li>・必要な情報を把握する力を問う問題</li> <li>・グラフや英文の情報、会話文の要点を把握して総合的に判断する力を問う問題</li> </ul>
大問4	書き出しに続けて、自分の考えを英語で表現する問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B問題とは異なる問題</li> <li>・自身の行きたい場所について40語程度の英語で表現する力を問う問題</li> </ul>

#### 4 誤答分析と今後の指導のポイント

【課題①】必要な情報を読み取り、英語の問いに英語で答えることに課題がある。

大問1 (1) イ 正答率 11.97% 無答率 8.45%

次の英文は、高校生の卓(たく)也(や)が自分の経験について語ったスピーチである。英文を読んで、あとの問いに答えよ。

Last April, I became a member of the student council because I wanted to do something for Midori High School. Our school was not clean, so I decided to make it clean. I made posters first. I wrote, "Let's make our school clean." However, the posters didn't work. The next week, I started telling other students to clean their classrooms more, but they didn't listen to me. I was very sad.

In my town, when elementary school children walk to school in the morning, elderly people in a volunteer group help them. One morning, when I saw the elderly people on the street, I thought, "I know that elderly man. He walked with me every morning when I was in elementary school. He is still doing that. I'm surprised." After dinner that evening, I talked about him with my mother. She said, "He helps elementary school children every morning. He works to make the street clean in the afternoon, too. I hear he started those activities more than twenty years ago. He is ninety years old now." I said, "Really? He's amazing."

A few days later, I saw him again on my way home from school in the afternoon. He was cleaning the street with other elderly people. I wanted to talk with him. I said, "Good afternoon. Thanks to you, this street is always clean." He smiled and said, "I like to work for our community." Then I said, "You take care of elementary school children every morning, too. You're amazing." He said, "Well, I retired from my job when I was sixty-five years old. I had a lot of time, and I wanted to do something for our community. One day, I heard about elderly people in other towns. They helped elementary school children on their way to school. I asked my friends to do the same thing with me in our town, but they didn't want to do it. I started helping children alone, but I didn't feel sad because I enjoyed this volunteer activity. One of my friends sometimes came to see my volunteer activity, and he finally joined me. Other friends also joined us later." He smiled again and said, "I feel really happy when I see the happy faces of people, especially the happy faces of children. Your name is Takuya and you like science, right? I talked a lot with you when you were in elementary school. Now you are much taller than I." I was surprised because he knew about me.

That night, I thought, "Though his friends didn't agree with him at first, he started helping children alone. And he always enjoys working for our community. What am I doing? I only told other students to clean our school. I have done nothing yet, and I don't enjoy anything. If I want other people to work hard, I have to start working very hard myself and I should enjoy it." Thanks to him, I changed my attitude.

The next day, I started cleaning our school alone after school. I enjoyed it because our school became cleaner and cleaner. A week later, one of my friends joined me. Two weeks later, several students joined us. A month later, more students started working with us. Some of them said to me, "I decided to work with you because you look happy when you are working. Our school has become much cleaner. I'm proud of it." I felt happy to hear that. I thought, "I decided to enjoy working for my school. Then other students began to say they want to work with me. After I changed my attitude, other students changed their attitudes, too." Now many students clean our school really hard and our school is very clean.

I learned two important things through these experiences. First, ( ). Second, ( ). If I keep these things in mind, I think I can solve even difficult problems. I want to say to the elderly man, "I learned important things from you. Thank you."

(注) student council 生徒会 retired from my job 退職した attitude(s) 態度

問(1) 次の質問に英語で答えよ。

イ Is Takuya's school clean now?

【解答例】

Yes, it is.

〈誤答分析〉

- ・"Yes"から解答を始めているものが約4割、"No"から解答を始めているものが5割以上であった。
- この問いは、「卓也が提案した、学校をきれいにするとという生徒会活動が、卓也の変容とともに活性化し、学校は以前とは見違えてきれいになった。」という本文内容の理解を問うものだが、半数以上の生徒がその内容を理解していない。



→第5段落最終文に "Now many students clean our school really hard and our school is very clean." とあるものの、"Takuya's school is clean now." という、本問との同一文は出現しないことも正答率を下げた要因と思われる。

- ・"No, he isn't." や "Yes, he is." など、文法的には正しいが、問いに正しく答えていない解答は、全体の約3割であった。また、"No, they isn't." や "No, it not." など、文法的に誤りのある解答は全体の2割程度であった。

→英語での基本的な応答の仕方が定着していない。

#### [SASA で指摘された課題]

SASA2019 2(1) 会話の状況、適切な主語・時制（過去形）を用いて表現することができる。

SASA2019 2(2) 会話の状況、適切な主語・時制（未来表現）を用いて表現することができる。

SASA2018 7(1) 会話の状況から判断し、適切な主語・時制（過去形）・語句を用いて表現することができる。

SASA2017 4(2) 英語のスピーチの原稿を読んで、健が帰国後に日本人の友人（武）との話を通して分かったことを理解することができる。

#### 〈今後の指導のポイント〉

- ・英文のメッセージや要点をより早く正確につかむために、英文の展開を予想しながら読むスキルを指導する。英文読解のプロセスには、読みながら得られる情報をつなぎ合わせて全体の理解を図るだけでなく、背景知識などを利用して全体内容を予測し、英文の全体像をイメージしながら理解を図ることも必要になる。

→英語が苦手な生徒は、重要な情報とそれほど重要でない情報の選別ができず、英文中の全ての情報を同等に処理しがちである。英文を読む前にタイトルやキーワードなどから本文の内容を推測させ、英文の要点に関わる問いを1つだけ与えるなどして、英文の要点のみをつかむトレーニングを行う。

- ・本問の解答は、Yes, it is. であり、これは Yes, it(Takuya's school) is clean now. の省略形である。このルールを理解させた上で、様々な応答の仕方を定着させる。

→言語活動において、英語での応答につまずきが見られるタイミングで、上記のルールを説明する。その後、英問英答などの活動場面で、応答の仕方に関する言語活動を行う。

- ・筆者の主張や内容の全体把握をするための力をつける。

(参考 SASA2016 指導例 報告書 p185)

【課題②】英文の要点をつかむことに課題がある。

大問1 (5)

- (1) 正答率 50.70% 無答率 1.41% (2) 正答率 50.70% 無答率 1.41%  
 (3) 正答率 45.77% 無答率 1.41% (4) 正答率 80.28% 無答率 0.70%

次の英文は、高校生の卓(たく)也(や)が自分の経験について語ったスピーチである。英文を読んで、あとの問いに答えよ。

Last April, I became a member of the student council because I wanted to do something for Midori High School. Our school was not clean, so I decided to make it clean. I made posters first. I wrote, "Let's make our school clean." However, the posters didn't work. The next week, I started telling other students to clean their classrooms more, but they didn't listen to me. I was very sad.

In my town, when elementary school children walk to school in the morning, elderly people in a volunteer group help them. One morning, when I saw the elderly people on the street, I thought, "I know that elderly man. He walked with me every morning when I was in elementary school. He is still doing that. I'm surprised." After dinner that evening, I talked about him with my mother. She said, "He helps elementary school children every morning. He works to make the street clean in the afternoon, too. I hear he started those activities more than twenty years ago. He is ninety years old now." I said, "Really? He's amazing."

A few days later, I saw him again on my way home from school in the afternoon. He was cleaning the street with other elderly people. I wanted to talk with him. I said, "Good afternoon. Thanks to you, this street is always clean." He smiled and said, "I like to work for our community." Then I said, "You take care of elementary school children every morning, too. You're amazing." He said, "Well, I retired from my job when I was sixty-five years old. I had a lot of time, and I wanted to do something for our community. One day, I heard about elderly people in other towns. They helped elementary school children on their way to school. I asked my friends to do the same thing with me in our town, but they didn't want to do it. I started helping children alone, but I didn't feel sad because I enjoyed this volunteer activity. One of my friends sometimes came to see my volunteer activity, and he finally joined me. Other friends also joined us later." He smiled again and said, "I feel really happy when I see the happy faces of people, especially the happy faces of children. Your name is Takuya and you like science, right? I talked a lot with you when you were in elementary school. Now you are much taller than I." I was surprised because he knew about me.

That night, I thought, "Though his friends didn't agree with him at first, he started helping children alone. And he always enjoys working for our community. What am I doing? I only told other students to clean our school. I have done nothing yet, and I don't enjoy anything. If I want other people to work hard, I have to start working very hard myself and I should enjoy it." Thanks to him, I changed my attitude.

The next day, I started cleaning our school alone after school. I enjoyed it because our school became cleaner and cleaner. A week later, one of my friends joined me. Two weeks later, several students joined us. A month later, more students started working with us. Some of them said to me, "I decided to work with you because you look happy when you are working. Our school has become much cleaner. I'm proud of it." I felt happy to hear that. I thought, "I decided to enjoy working for my school. Then other students began to say they want to work with me. After I changed my attitude, other students changed their attitudes, too." Now many students clean our school really hard and our school is very clean.

I learned two important things through these experiences. First, ( ). Second, ( ). If I keep these things in mind, I think I can solve even difficult problems. I want to say to the elderly man, "I learned important things from you. Thank you."

(注) student council 生徒会 retired from my job 退職した attitude(s) 態度

- (5) 次の英文は、おじいさんと話をした翌日の放課後に一人で掃除している卓也と、ブラウン先生との対話である。英文の中の(1)～(4)に入る最も適当なものを、それぞれあとのア～カから一つ選んで、その記号を書け。

Ms. Brown:	Hi, Takuya. Why are you cleaning the hallway alone?
Takuya:	Hello, Ms. Brown. I really want to make our school clean. I told other students to clean their classrooms. I tried to ( 1 ) their attitudes, but they didn't listen to me. I was ( 2 ) at that time, but I've decided to ( 1 ) myself first.
Ms. Brown:	So you are cleaning the hallway yourself. Great!
Takuya:	Thank you. Well, I met an elderly man who does several things to ( 3 ) people in our community. He looked very ( 4 ) when he was talking about his volunteer activities. I think he is amazing. I want to be a person like him.

ア angry イ change ウ happy エ help オ learn カ sad

【解答例】

(1) イ (2) カ (3) エ (4) ウ

〈誤答分析〉

- ・(4)のみ正答で、(1)～(3)が誤答である解答が約3割あった。昨年度の類似問題と正答率および無答率は以下の通りである。昨年度の選択肢は全て名詞句で、4つの選択肢のうち、2語の選択肢が3つであったが、今年度の選択肢は基本的な動詞または形容詞の単語1語となっているため、難易度は下がった。今年度は要約文の内容も易しくなったものの、正答率は期待されたほど伸びていない。

→本文の要点を把握することに課題が見られる。また、選択肢の品詞が解答のヒントになっているにも関わらず誤答が多いことから、品詞や基本的な文法に対する理解が不十分であると考えられる。

[昨年度の類似問題：大問1(7)]

※本文略

(7) 次の英文は、咲のクラスのある生徒が、学校祭が終わった後に書いた感想である。英文中の(1)～(4)に入る最も適当なものを、それぞれあとのア～エから一つ選んで、その記号を書け。

The school festival became the best memory of my junior high school days. At first, we had different ( 1 ) about the performance on the stage. Finally, we decided to use both Saki's idea and Emi's idea. We worked in two groups. Saki's group gave a ( 2 ) to show the sad feelings of farm workers working under unfair conditions. Then Emi's group made a presentation about things ( 3 ) are doing to make the world better. After that, Saki's group danced again to show the happy feelings of farm workers enjoying better lives. We had a wonderful performance in the end. From this experience, I learned that we can be more successful by ( 4 ) with our friends.

ア dancing performance    イ fair trade companies    ウ ideas    エ working together

[正答率および無答率]

(1) 正答率 52.10% 無答率 1.80% (2) 正答率 42.51% 無答率 1.80%  
(3) 正答率 46.71% 無答率 1.80% (4) 正答率 47.90% 無答率 2.40%

[SASAで指摘された課題]

- ・SASA2019 5(2) 英語のスピーチの原稿を読み、その内容と合う英文を指摘することができる。

〈今後の指導のポイント〉

- ・英文のメッセージや要点をより早く正確につかむために、英文の展開を予想しながら読むスキルを指導する。英文読解のプロセスには、読みながら得られる情報をつなぎ合わせて全体の理解を図るだけでなく、背景知識などを利用して全体内容を予測し、英文の全体像をイメージしながら理解を図ることも必要になる。

→英語が苦手な生徒は、重要な情報とそれほど重要でない情報の選別ができず、英文中の全ての情報を同等に処理しがちである。短めの英文を用いて、英文を読む前にタイトルやキーワードなどから本文の内容を推測させ、英文の要点に関わる問いを1つだけ与えるなどして、英文の要点のみをつかむトレーニングを行う。

- ・英語を用いて自己表現活動を行う際は、どういった品詞・要素をどのように並べたら文を作ることが出来るのかを指導する。
- ・筆者の主張や内容の全体把握をするための力をつける。(参考 SASA2016 指導例 報告書 p185)

【課題③】 必要な情報を聞き取り、英語で表現することに課題がある。

大問2 (2) 2 正答率 12.68% 無答率 19.72%

2 放送による問題(この問題は、検査開始後35分経過してから行う。)

(2) アメリカに留学中のあなたは、学校の図書館について説明を聞いている。その内容をよく聞いて、次のメモ(MEMO)の(1)～(3)に、それぞれ最も適当な語句を書け。ただし、(1)と(2)は1語、(3)は2語の英語で書くこと。

MEMO

A library ( 1 ) is necessary : to enter the library and to borrow books  
The library is open : from 8 a.m. to 6 p.m. from Monday to ( 2 )  
We can borrow books : during lunchtime and ( 3 )

【放送原稿】

アメリカに留学中のあなたは、学校の図書館について説明を聞いています。その内容をよく聞いて、問題用紙のメモの1から3の空所に、それぞれ最も適当な語句を書きなさい。ただし、1と2は1語、3は2語の英語で書きなさい。英文は2回読まれます。では始めます。

We're in front of the library entrance. Now, I'm going to tell you about some of the library rules. First, when you enter the library, put your library card in this machine. I'll give it to you later. You need to show it when you borrow books, too. When you leave the library, you don't need to use the card. Second, you can use the library from 8 a.m. to 6 p.m., but you can't enter the library on Saturdays or Sundays. You can borrow books during lunchtime and after school. OK. Here's your library card. Put it in the machine and enter the library.

【解答】

Friday

〈誤答分析〉

・誤答として最も多かったのは Sunday である。

→”you can't enter the library on Saturdays or Sundays.”の”Sundays”を拾った生徒が多かったようだ。can と can't は聞き分けが苦手な生徒が多いが、まとまりを意識して聞き取り、”Second, you can use the library from 8 a.m. to 6 p.m., but you can't enter the library on Saturdays or Sundays.”下線部の but に注意すれば土曜日と日曜日が入館不可であるということに気づき、発話はされていないものの Friday という正解にたどりつくことができる。

【SASA で指摘された課題】

- ・SASA2018 1(1) 自然な口調で読まれる英語を聞いて、大切な部分(Kotaが夏休みに楽しんだこと)を正しく聞き取ることができる。  
1(2) 自然な口調で読まれる英語を聞いて、大切な部分(みどり市の図書館で新しく始まるサービス)を正しく聞き取ることができる。
- ・SASA2016 1(1) 自然な口調で話される英文を聞いて、大切な部分(和也がすること)を正しく聞き取ることができる。  
1(2) 自然な口調で話される英文を聞いて、大切な部分(ボランティアクラブの活動予定)を正しく聞き取ることができる。

〈今後の指導のポイント〉

- ・目的を意識した聞き取り活動を行うことで、必要な情報を聞き取る力を養う。  
→アナウンスを聞いて注意点を確認し、他者にその注意点を伝える活動や、スピーチを聞いて、その内容をふまえて自分の意見を述べる活動などを行う。聞く目的を意識させ、その目的に応じた情報の取り方、概要などの把握の仕方をより意識させる。
- ・ALTのスピーチを聞いて質問に答える。  
(参考 SASA2018 指導例 報告書 p128-129)
- ・教科書本文の内容を聞き、聞いて分かったことを相手に伝える。  
(参考 SASA2016 指導例 報告書 p180)

**【課題④】 自分の考えを英語で表現することに課題がある。**

**大問 2 (4) 正答率 8.45% 無答率 21.83%**

(4) 留学生のマイクの質問に対して、あなたならどのように答えるか。あなたが話す内容を3文程度の英語で書け。

**【放送原稿】**

今から対話が始まります。留学生のマイクの質問に対して、あなたならどのように答えますか。あなたが話す内容を3文程度の英語で書きなさい。英文は2回読まれます。では始めます。

Woman: Mike, I hear you picked up garbage as a volunteer activity yesterday. How was it?

Man: I had a great time. I want to do it again. If you have a chance to do a volunteer job, what do you want to do?

**【解答例】**

I want to clean the beach. I heard that many sea animals get sick or die because of the garbage humans throw away into the sea. I want to save the lives of such sea animals.

**〈誤答分析〉**

- ・“I want to join volunteer activities.”や“Volunteer activities are nice.”など、問われていることに正しく答えていない解答が約3割あった。  
→問われている内容を判断する力が不足している。
- ・1文目は書けていても、2文目、3文目でつながりのある英文を書けていない解答が約2割あった。  
→ボランティア活動に対する明確な自分の考えを持っていない。また、1文目に自分の考えを書いたときに、2、3文目に自分の考えに関する理由等を書いておらず、論理的な文章となっていない。

**大問 4 正答率 5.63% 無答率 8.45%**

4. 次の書き出しに続けて、あなた自身のことについてあとの注意に従って書け。

I want to go to \_\_\_\_\_ because ....

注意 1 40語程度の英語で書くこと。

2 下線の部分に適当な語句を英語で書くこと。

3 "I want to go to \_\_\_\_\_ because"の部分と、符号( , . ? !など)は語数に含めないこと。

**【解答例】**

(I want to go to Hokkaido because) I want to see its beautiful nature. When my family and I visited my grandmother in Hokkaido last summer, we didn't have enough time to travel around Hokkaido. I want to take many pictures and show them to my friends.

**〈誤答分析〉**

- ・40語程度の英文を書いている生徒は約4割いるものの、理由を説明できていない解答が約2割、また、テーマと関係のない方向に展開がそれてしまっている解答が約3割であった。  
→他人に自分の考えを伝えるためにどのような情報を含めるべきかの理解が足りない。また、自分の考えを書いたときに、次の文で自分の考えについて説明を付け加えるという英文の書き方が定着していない。

**[SASAで指摘された課題]**

- ・SASA2016 8(観点1) おすすめの場所とその食べ物に関する内容を4文以上の英文で書く。
- ・SASA2016 8(観点3) おすすめの場所とその食べ物をすすめる理由を読み手に伝わるように表現することができる。

**〈今後の指導のポイント〉**

- ・自分の考えを人に伝えるために、英文に含めるべき情報や構成を指導する。  
→スピーキングのペアワークで、自分の考えを言うときに、次に必ず説明を1文以上続ける条件をつける。スピーキングからライティングへと活動をつなげて、表現力を向上させる。
- ・箇条書きの文を、つながりや話の流れを意識した「エッセイ」に仕立てる。(参考 SASA2016 指導例 報告書 p188)
- ・ライティングリレーをして、ストーリーを展開させる。(参考 SASA2016 指導例 報告書 p189)

# 英語B

## 1 R02年度入学者選抜(調査人数 282人)

大問	小問	配点	平均点	正答率	無答率	出題形式			課題	A受験者の正答率	
						選択	短答	記述			
1	(1)	3	2.78	92.55%	0.00%	○					
	(2)	3	2.84	94.68%	0.00%	○					
	(3)	3	2.49	82.98%	0.00%	○					
	(4)	3	2.43	80.85%	0.00%	○					
	(5)	1	3	1.47	22.34%	5.32%			○	課題①	
		2	3	1.66	31.91%	6.38%			○	課題①	
	(6)	3	2.51	83.69%	0.00%	0.00%	○				
(7)	6	3.84	14.18%	1.42%			○	課題②			
2	(1)	1	3	2.7	89.72%	0.00%	○				53.52%
		2	3	2.66	88.65%	0.00%	○				56.34%
		3	3	2.67	89.01%	0.00%	○				57.75%
	(2)	1	2	1.5	73.05%	1.06%		○			28.87%
		2	2	1.33	62.06%	1.77%		○			12.68%
		3	2	1.77	87.59%	0.71%		○			52.82%
	(3)	1	3	2.71	90.07%	0.00%	○				43.66%
		2	3	2.1	69.86%	0.00%	○				43.66%
		3	3	2.18	72.70%	0.00%	○				31.69%
	(4)	6	3.74	20.57%	2.48%			○	課題②		8.45%
3	(1)	3	2.59	86.17%	0.00%	○				43.66%	
	(2)	3	2.41	79.79%	0.00%		○			38.73%	
	(3)	3	1.86	61.70%	0.35%	○			課題③	29.58%	
	(4)	3	2.12	70.57%	0.35%	○				32.39%	
	(5)	3	2.48	81.91%	0.71%	○				44.37%	
	(6)	1	3	2.31	76.24%	1.06%	○				23.94%
		2	3	2.57	85.46%	0.35%	○				41.55%
		3	3	2.46	81.56%	0.71%	○				21.83%
		4	3	2.53	83.69%	0.71%	○				35.21%
	4	(1)	8	4.48	6.03%	1.42%			○	課題④	
(2)		8	4.28	6.03%	4.26%						
合計			72.66								

※20%未満に網掛け

※20%未満に網掛け ※15%超過に網掛け

記述問題の総配点
34点

## 2 全体概要

良好	
○英文を読んで、人物の考えや必要な情報を読み取ることができる	大問1 (1)、(2)
○自然な口調で話される対話や英文を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる	大問2 (1)、(2) 3 (3) 1
○会話文と資料を読んで、必要な情報を読み取ることができる	大問3 (1) 大問3 (6)
課題	
●必要な情報を読み取り、英語で表現することに課題がある。	大問1 (5) 1、2
●自分の考えを英語で表現することに課題がある。	大問1 (7) 大問2 (4)
●対話を読んで、必要な情報を読み取ること課題がある。	大問3 (3)
●社会的な話題について、自分の意見を英語で表現することに課題がある。	大問4

## 3 問題の概要

大問1	長文を読んで設問に答える問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A問題とは異なる問題</li> <li>・ 中学生の咲がキャリアデーに参加し、働く意義を学んだ体験についての英文スピーチ (729語 B問題: 666語)</li> <li>・ 咲の心情の変化や咲に影響を与えた出来事などについて、正確に読み取る力を問う問題</li> <li>・ 咲が学んだ働く意義について英語でまとめる力を問う問題</li> <li>・ 英文の内容を踏まえて、自身の職業観について英語で表現する力を問う問題</li> </ul>
大問2	放送による聞き取りの問題 (A B問題共通)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然な口調で話される対話、留学先での学校図書館の利用方法の説明、ホームステイにおけるアドバイスに関する内容</li> <li>・ 必要な情報や話の要点を聞き取る力を問う問題</li> <li>・ 聞き取った話の要点を英語で表現する力を問う問題</li> <li>・ 聞き取った対話の内容を踏まえて、自身が望むボランティア活動について英語で表現する問題</li> </ul>
大問3	会話文と資料を読んで設問に答える問題 (A B問題共通)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界各国・地域への外国人訪問者数に関するグラフと、外国人旅行者が日本を訪問する目的に関する表をもとに展開される4人の会話文 (511語)</li> <li>・ 必要な情報を把握する力を問う問題</li> <li>・ グラフや英文の情報、会話文の要点を把握して総合的に判断する力を問う問題</li> </ul>
大問4	対話文を読んで、与えられた立場での意見を英語で表現する問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A問題とは異なる問題</li> <li>・ 「コンビニエンスストアの24時間営業」について「必要だ」という意見の理由と、「不要だ」という意見の理由を、両方の立場を理解して、それぞれ20語程度の英語で表現する力を問う問題</li> </ul>

#### 4 誤答分析と今後の指導のポイント

【課題①】必要な情報を読み取り、英語で表現することに課題がある。

大問1 (5) 1 正答率 22.34% 無答率 5.32%

(5) 2 正答率 31.91% 無答率 6.38%

1 次の英文は、中学生の咲(さき)が自分の経験について語ったスピーチである。英文を読んで、あとの問いに答えよ。

What do you want to be in the future? Some students want to be chefs, and some students want to be journalists. Why will you work? I think many students will say, "Because I want to get a lot of money. I'll make my life better with the money." I once said so, too, but now I have a different answer because of my experiences on Career Day.

On Career Day, I worked at a flower shop for three days. I like flowers and wanted to know more about flowers. And the jobs at a flower shop seemed fun. So I decided to work there. On the first day, I met the shop owner and started working. I was a little nervous, but I worked hard and learned many things. For example, I learned how to give water to flowers and how to wrap them. I enjoyed learning such things and felt happy.

When I had dinner that evening, I told my mother, "Working at the flower shop isn't difficult. It's interesting. I want to learn more."

However, I had some bad experiences on the second day. A customer asked me to cut off some parts of the flowers, but I cut off different parts by mistake. I told another customer the wrong prices of some flowers. I made several mistakes like these and the customers got angry. I said to them, "I'm sorry," many times. I felt embarrassed and sad. The shop owner said, "You must do your job carefully. We must make all our customers happy." I could not enjoy working anymore on that day.

That evening, I thought about my mistakes in my room. I said to myself, "I worked very hard, but I don't feel happy now. I don't want to work there tomorrow." When I had dinner with my mother, I still thought about them. She said, "You look sad. What happened to you?" I talked about my mistakes and my feelings. "I know how you feel. Everyone makes mistakes. Don't worry too much," she said. I asked, "You work at the aged care facility. Do you feel happy when you work?" She smiled and answered, "Yes. Elderly people in the facility enjoy their lives there. I see a lot of smiles every day and feel very happy." I heard her feelings about her job for the first time. Then she told me, "Well, there is a woman who often visits the facility to see her father. She looks happy to see his smile. She always says thank you when she sees me. It's difficult for her to take care of her father in her house, so we take care of him for her." I asked, "You help not only elderly people there, but also their families, right?" She answered, "Yes. I feel good to see the happy faces of many people." Her words impressed me a lot. I thought, "I didn't think about the customers at the flower shop carefully, but I'll think more about them tomorrow. I'll try harder to help them. And I'll make them happy like my mother."

On the last day, I worked hard to see the smiles of the customers at the flower shop. I was no longer sad. I realized that I feel really happy when I see the happy faces of them. After I finished working at the shop, I talked with the shop owner. He said, "I know you felt sad yesterday. I'm glad that you looked happy today. You worked hard for our customers." I said, "Thank you very much. Experiences at this shop taught me important things about working." He said, "That's good. I want to help a lot of people by working. And I want to make them happy, too. It's important to get money for your life, but these two things are more important for me." The shop owner's words impressed me. I learned important things about working from him and my mother. Thanks to them, I found my motto for working.

Why will you work? Before Career Day, I answered, "I will work because ( 1 )." Now I will say, "I will work because ( 2 )." That is my motto for working. In high school, we will have to think more about our future jobs. I want to follow my motto for working when I make a decision about my future job.

(注) shop owner 店主 aged care facility 老人介護施設 word(s) 言葉

(5) 本文の中の( 1 ), ( 2 )に入る適当な表現を、それぞれ13語以内の英語で答えよ。ただし、符号( , . ? ! など)は語数に含めないこと。

【解答】

(1) I want to get a lot of money and make my life better

(2) I want to help a lot of people and make them happy



〈誤答分析〉

- ・ 英文の中に書かれてあるポイントを1つしか含めていない解答が約4割であった。  
→(2)については、"That's good. I want to help a lot of people by working. And I want to make them happy, too. It's important to get money for your life, but these two things are more important for me." 2つ目のポイントとなる箇所"...,too." が使用されているために(1)よりも正答率が約10%高くなった要因だと思われる。  
→13語以内という条件を意識できていない。

[SASA で指摘された課題]

- ・ SASA2018 4(3) 英語のスピーチの原稿を読み、筆者(ベン)が聴衆に何を呼びかけているのかについて日本語で表現することができる。
- ・ SASA2017 4(3) 英語のスピーチ原稿を読んで、健がカナダのホームステイや友人との話を通じて、家族について学んだことを日本語で表現することができる。

〈今後の指導のポイント〉

- ・ 英文の要点、メッセージなどを条件にそって英語で表現する活動を行う。  
→スピーチや説明文などの英文を読み、最も重要な箇所をつかんで発表する。レベルに応じて、その箇所を日本語でまとめたり、英語でまとめたりする活動を展開する。
- ・ 主人公の気持ちを読み取ったり、トピック・センテンスから必要な情報を選び、話を日本語でまとめたりする。(参考 SASA2017 指導例 報告書 p149-150)

**【課題②】 自分の考えを英語で表現することに課題がある。**

**大問 1 (7) 正答率 14.18% 無答率 1.42%**

1(7) 次の質問に対してあなた自身のことについて3文程度の英語で書け。

If you think about your future job now, what do you want to be or what do you want to do? And how can you help other people through your job?

**【解答例】**

I want to make robots to help elderly people. I hope people can solve problems elderly people have in their daily lives by using my robots. I also hope their families will be able to take care of them easily.

**〈誤答分析〉**

- ・ほぼ全員の生徒が3文程度の英語を書いており、1文目で将来就きたい職業を書くことができているものの、どのように人の役に立ちたいのか、十分に表現できていない解答が約4割であった。  
→明確な職業観が育成されていない。抽象から具体へとつながる論理的な文章となっていない。
- ・2文目、3文目において、その職業だからこそのことや読み手を意識した英文が少ない。一般的な表現にとどまり、内容のまとまりにやや欠ける解答が約2割であった。(例: I want to be a chef. I like eating delicious food. I want to make other people happy.)  
→含めるべき情報を判断する力や文章構成力に課題がある。

**大問 2 (4) 正答率 20.57% 無答率 2.48%**

2(4) 留学生のマイクの質問に対して、あなたならどのように答えるか。あなたが話す内容を3文程度の英語で書け。

**【放送原稿】**

今から対話が進みます。留学生のマイクの質問に対して、あなたならどのように答えますか。あなたが話す内容を3文程度の英語で書きなさい。英文は2回読まれます。では始めます。

Woman: Mike, I hear you picked up garbage as a volunteer activity yesterday. How was it?

Man: I had a great time. I want to do it again. If you have a chance to do a volunteer job, what do you want to do?

**【解答例】**

I want to clean the beach. I heard that many sea animals get sick or die because of the garbage humans throw away into the sea. I want to save the lives of such sea animals.

**〈誤答分析〉**

- ・1文目に、具体的に参加したいボランティア活動について書くことはできているものの、2文目、3文目でその説明が不十分である解答が約2割であった。  
→自分の考えを述べた後に、その説明を続けるという思考が定着しておらず、結果として合理性や説得力のある英文にできていない。

**〈今後の指導のポイント〉**

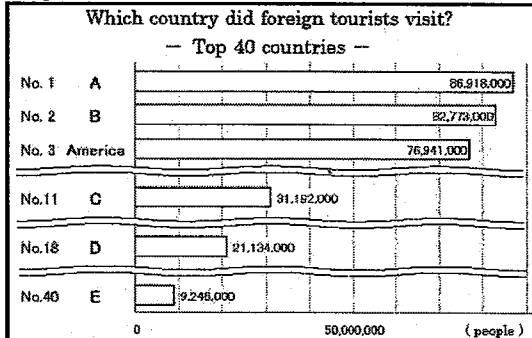
- ・自分の考えを人に伝えるために、英文に含めるべき情報や構成を指導する。  
→スピーキングのペアワークで、自分の考えを言うときに、次に必ず説明を1文以上続ける条件をつける。リスニング/リーディング→スピーキング→ライティングという統合的な言語活動を行うことで自然なコミュニケーションの場を設定し、アウトプットの機会を多く与えることで表現力を磨くことができる。
- ・箇条書きの文を、つながりや話の流れを意識した「エッセイ」に仕立てる。  
(参考 SASA2016 指導例 報告書 p188)
- ・ライティングリレーをして、ストーリーを展開させる。(参考 SASA2016 指導例 報告書 p189)

【課題③】対話を読んで、必要な情報を読み取ることに課題がある。

大問3(3) 正答率 61.70% 無答率 0.35%

光(こう)太(た)とカナダ出身のアレックス、オーストラリア出身のベッキーが、ベーカー先生の授業で、世界各国・地域への外国人訪問者数をまとめたグラフ(Graph)と、外国人旅行者が日本を訪れる目的をまとめた表を見ながら話をしている。次のグラフと表、および対話文を読んで、あとの問いに答えよ。ただし、グラフのA~Eはそれぞれ国を指す。

Graph



Table

	Before coming to Japan, I wanted ... (%)	When I come to Japan next time, I want ... (%)
to eat Japanese food	72.1	87.0
to do sightseeing	50.9	40.9
to take a bath at a hot spa resort	30.8	51.1
to see the cherry blossoms, the autumn colors, and so on	12.9	25.4
to ski or snowboard	4.5	16.1

Ms.

グラフ：「世界各国・地域への外国人訪問者数(2018年 上位40位)」(日本政府観光局 2019.8)より6カ国を抜粋し編集。

表：「2018年訪日外国人消費動向調査」(観光庁 2019.6)より編集。複数回答可能のため、それぞれの割合を足すと100%を超える。

Baker: A newspaper said some Japanese people want more foreign tourists to visit Japan. What should Japan do? Let's talk about it today. I made a graph for you. It shows the numbers of foreign tourists who visited America, France, Spain, and your countries in 2018.

Kota: Look at the top three countries. I always thought America was number one, but it was number three in 2018. France was number one, and Spain was number two.

Alex: Japan was more popular among foreign tourists than Canada.

Becky: Alex, Canada had more foreign tourists than Australia.

Kota: France is very popular among foreign tourists because it has a lot of famous places for sightseeing and delicious food. Are there any other reasons?

Alex: People living in the countries around France can go there easily by train or by car.

Becky: I hear many international events are held in France. People from all over the world visit France to join them.

Ms. Baker: There's another reason. Tourist information offices in France are very convenient for foreign tourists.

Those offices give them many kinds of helpful information in ten languages.

Becky: Really? I think Japan should also make such tourist information offices like France.

Kota: That's good. Such offices will help foreign tourists to enjoy their trip in Japan.

Ms. Baker: Now I want you to look at this table. It shows things foreign tourists want to do in Japan.

Becky: Oh, look at "to take a bath at a hot spa resort." Before coming to Japan, about thirty percent of the foreign tourists wanted to do it in Japan, but about fifty percent of the foreign tourists want to do it when they come to Japan next time. More foreign tourists want to do it on their next trip.

Alex: I think many foreign tourists want to try things they can do only in Japan on their next trip. Hot spa resorts in Japan are unique, so they want to go there when they come to Japan next time.

Becky: Most Japanese hot spa resorts are in provincial cities, towns, and villages. Fukui's hot spa resorts are also in those places. I think they are so nice that they can attract foreign tourists to Fukui.

Kota: I think so, too. I once read about foreign tourists in a newspaper. It said, "Foreign tourists who have visited Japan many times often travel to provincial places in Japan." So I'm sure they'll come to Fukui to enjoy its hot spa resorts.

Alex: More foreign tourists want to see beautiful nature and enjoy sports in the snow on their next trip to Japan, too.

Kota: The cherry blossoms and the autumn colors in Fukui are very beautiful.

Becky: Ski resorts in Fukui are wonderful, too. Last winter, I enjoyed skiing there.

Alex: Fukui has good points foreign tourists can enjoy.

Kota: Exactly. We should be proud of Fukui's good points that the big cities usually don't have. If we give more information about them, foreign tourists will be more interested in Fukui.

Ms. Baker: OK. I want you to make a presentation about how to attract more foreign tourists to Fukui. Please show your presentation in my class next week.

(注) hot spa resort(s) 温泉観光地 tourist information office(s) 旅行案内所 provincial 地方の ski resort(s) スキー場

(3) 次の質問の答えとして最も適当なものを、あとのア～エから一つ選んで、その記号を書け。

Who came up with the idea of making tourist information offices with helpful information in ten languages in Japan?

- ア Alex did.
- イ Becky did.
- ウ Kota did.
- エ Ms. Baker did.

【解答】イ

### 〈誤答分析〉

・ 問いの内容は、「多言語で有益な観光情報を提供する案内所の創設を思いついたのは誰か」というもので、誤答の約9割はエであった。昨年度の類似問題と、正答率および無答率は以下の通りである。昨年度の問題においては、解答に必要な情報について言及した人物は一人だけだったので人物が特定しやすかった、今年度の問題において、解答に必要な情報である「旅行案内所」について言及した人物はBecky、Ms. Baker、Kotaの三人であった。そのため、解答の際に処理する情報量は昨年度より増えたものの、三人の発話は本文の中で離れておらず、発話内容の比較が容易であるため、昨年度並みの正答率（75%程度）が期待された問題であった。

→三人の発話を比較して、“make”という表現を唯一しているBeckyを選択すべきである。しかし、問いにある、“tourist information offices with helpful information in ten languages”という情報について、BeckyとKotaの発話が“such”という表現で間接的に含んでいるのに対し、Ms. Bakerの発話は直接的な表現で含んでいるために、Ms. Bakerの発話が問いの内容に一番近いと判断してしまった生徒が多かったと思われる。

[昨年度の類似問題：大問3（4）]

※本文略

(4) 次の質問の答えとして最も適当なものを、あとのア～エから一つ選んで、その記号を書け。

Who said thinking about the things students do on the Internet is important?

- ア John did.
- イ Kana did.
- ウ Ms. Baker did.
- エ Yun-ho did.

[正答率および無答率]

正答率 74.74% 無答率 0.70%

### [SASAで指摘された課題]

・SASA2017 4(2) まとまりのある文章を読んで、設問で問われている必要な情報を読み取ることができる。

### 〈今後の指導のポイント〉

・スピーチや対話文などの英文を読み、必要な情報や登場人物が最も言いたいことが書かれてある箇所を発表する。レベルに応じて、その箇所を日本語でまとめたり、英語でまとめたりする活動も展開する。

→教科書に関連した英文を用いて、筆者の言いたいことを簡単に英語や日本でまとめる活動を行う。

【課題④】社会的な話題について、自分の意見を英語で表現することに課題がある。

大問 4 (1) 正答率 6.03% 無答率 1.42%

大問 4 (2) 正答率 6.03% 無答率 4.26%

放課後、英語クラブで亜美(あみ)と留学生のマークが話をしている。次の対話文の流れに合うように、1 および 2 に入る内容を考えて、それぞれ 20 語程度の英語で書け。ただし、符号(、. ? !など)は語数に含めないこと。

Mark: Most convenience stores are open 24 hours, but I don't think convenience stores need to be open 24 hours.

Ami: Why?

Mark: Let me see.

1

Ami: I see what you mean, but I think convenience stores should be open 24 hours.

2

Mark: Now I want to know what other students think about our opinions. Let's ask them.

【解答例】

1 There are not many customers in convenience stores at night. It is important to use electricity in an eco-friendly way.

2 If a problem happens to you, you can buy things to solve it at a convenience store even at night

〈誤答分析〉

- ・ "I" を多用し、主観的な書き方をしている解答が約 5% であった。  
→ コンビニエンスストアの 24 時間営業について賛成の立場と反対の立場両方の視点からの意見を問う問題で、客観的な視点からの意見が必要であることを理解できていない。
- ・ 内容はよいが、スペルの誤り、使用する品詞の誤り、動詞の語法など、既習事項でも表現上の誤りが多い。  
→ 既習事項の定着度が低く、言語知識を使える技能にまでに到達できていない。

〈今後の指導のポイント〉

- ・ 社会的な話題について、客観的な視点から自分の考えを深める。  
→ 教科書の各レッスンのテーマに関する新聞記事やウェブサイトなどから、生徒のレベルに応じた英文を取り出し、生徒が読んで感想や意見を言い合う活動を行う。社会性のあるテーマを生徒の自己関与度のあるものに設定することで、生徒の興味・関心を高め、主体的な取り組みを促す。
- ・ 表現力向上(既習事項の定着)のために、「意味を意識した多量の繰り返し練習」を行う。  
→ 一般的に生徒が既習内容を定着させるには数十回の繰り返し練習が必要とされる。ただし、使用言語の意味を意識しないまま練習を繰り返しても効果が低いため、過去の UNIT を利用して音読やリテリングを行う。場面設定や条件を工夫して、「意味に意識を向けた」状態で多量の繰り返し練習を行う。

